買いものは
県内の商店を
利用しましょう
―県産品の愛用運動―

縣民の友

オ267号　昭和34年11月1日
発行所　和歌山市小松原通1丁目1番地
和　歌　山　県
発行人　文書広報課長　田中米市
毎月1回1日発行　定価1部2円
昭和23年3月24日第三種郵便物認可
昭和29年5月28日日本国有鉄道特別扱承認
雑誌第2816号

九月定例県議会おわる

災害対策に全力

少年保護条例など全議案を可決

九月定例県議会は九月二十八日召集され、総額三億八百五十余万円の一般会計追加更正予算をはじめ三十議案を原案通り可決、引き続き災害復旧費高率国庫補助についての意見書など六意見書を決議して十月十日散会した。

とくにこの議会は台風十五号により県下各地では多くの被害を蒙ったので休会の二十九日から県議会に災害特別委員会を設け、県議会議員が三班にわかれて紀の川筋、日高、西牟婁の海岸線、東牟婁、熊野川筋の被害地を調査し、一方、小野知事や大橋副知事も紀北、紀南地方にわかれて災害地を視察し、罹災民を激励した。

十月五日から再び本会議が開かれ、三日間一般質問、八、九の両日は常任委員会、十日は本会議を開き、委員長報告があつて全日程を終了した。

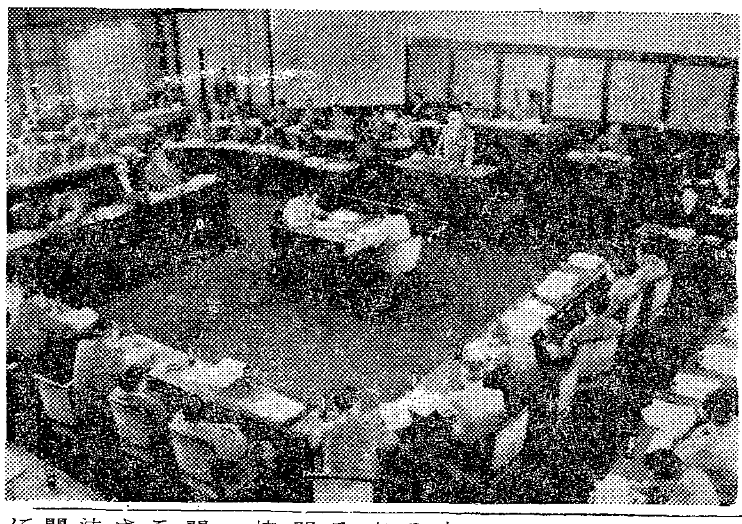
追加更正予算に計上された経費や条例の主なものは次のとおり。

先ず人件費は期末手当〇・一五カ月分の増額支給経費四千六百余万円、超過勤務手当の不足額三千三百余万円の追加となっている。次に災害復旧公共事業費については台風十五号関係を除き、過般来の豪雨により緊急復旧に要する経費で土木関係六千八百余万円農林関係六千四百余万円、その他一百余万円の計一億三千四百余万円を計上している。各種団体などに対する補助金については県財政窮迫の折でもあり、一千八百余万円と支出対象や事業内容などに十分検討を加えてできる限り圧縮している。

その他の経費の主なものには災害救助基金積立金四百余万円、農林業生産基盤整備事業に五百余万円、水産業振興対策費に約八百万円、水産増殖費に三百余万円、また、税外収入払戻金一千五百余万円、紀伊平野土地改良事業調査費約二百万円、熊野川電源開発補償工事調査費三百万円などである。

なお条例では少年の健全な育成をするため県少年保護条例の一部改正や病害虫防除所の名称、位置および管轄区域に関する条例、県地方競馬実施条例を廃止する条例などがある。

【県少年保護条例の一部を改正する条例】この条例は少年に害があると認められる有害興行の観覧の禁止や有害図書の販売などの禁止、有害刃物類又は有害がん具類の販売の禁止、賭博類似行為の禁止などであり、規定に違反して少年に観覧、販売したものに対しては罰則が設けられている。



九月定例縣議会で議案を説明する小野知事

台風15号被害

死傷者		228人
死者		6〃
行方不明		12〃
重傷		21〃
軽傷		128〃
罹災者および罹災家屋		
全壊	221戸	1.123人
流失	157〃	268〃
半壊	901〃	3.792〃
床上	5.105〃	22.064〃
床下	4.617〃	19.090〃
被害状況		
土木関係		1.694.049千円
耕地関係		542.340〃
林業関係		863.816〃
農業関係		1.943.367〃
畜産関係		48.782〃
農協関係		40.332〃
水産関係		658.561〃
公共施設		78.586〃
住宅関係		420.160〃
市町村公共施設		127.233〃
商工関係		876.600〃
計		7.293.881千円

相次いで陳情
災害対策特別委が政府、国会へ

また同日、本会議終了後午後六時から災害対策特別委員会を開催して関係部長から対策状況を聞き、中央並びに国会に対して陳情をすることを決め、第一班は十月十三日に、第二班は同十九日に、第三班は同二十六日にそれぞれ上京し陳情した。

早期実現へ拍車

四国地方開発特別法制定　県協議会が発足

本県の後進性を克服し、資源の総合的な開発、産業経済、交通、文化などの発展をはかることを目的とした四国地方開発特別法制定推進和歌山県協議会の創立総会は十月二十一日午後二時から県会議場で開催された。

この会は近く国会上程が予定されている四国地方開発特別法およびその他の法律制定と開発計画の促進をはかるために結成されたもので、同法制定後は県総合開発協議会（仮称）として本県の総合開発計画を立案し、これを推進する機関となる。この日の協議会で決められた事業計画の主なものは次のとおり。

▽開発促進法（仮称）の制定促進＝次期国会において四国和歌山地方単独の開発法の制定を期するが、止むを得ない場合は九州地方開発促進法を改正して九州、四国地方の開発促進法とする。同法制定後は、開発事業に対する国の補助率の引上げをはかり事業の促進を期す。

▽開発公庫の設立促進＝国の低利長期資金を本地方開発に導入し、これによる民間投資および一般金融機関の金融を補充し、または奨励するため本公庫を設立して地方産業の画期的振興に役立てる。このため九州との共同設置をも考え最悪の場合でも開発銀行に融資の枠を確保し、利子、償還期限や据置期間の有利な条件を定めさせる。

▽開発株式会社（仮称）の設立促進＝四国和歌山地方の振興に必要な事業を経営し、投資をするため開発株式会社を設立し、本県の産業開発を積極的に促進する。

▽中央行政機構の整備＝開発計画の推進にともない必然的に予想される事務量の増加に備えて政府各省庁間の事務の総合調整を円滑にさすため経済企画庁に「四国地方開発連絡協議会」を設けるとともに同庁総合開発局に「四国地方開発室」を設け、中央行政機構の整備をはかるように要請する。

また、重点事業として道路、鉄道など交通施設の整備、観光資源の開発、港湾の整備、水資源の開発、臨海工業地帯の整備造成、森林水産業の生産力増強、防災対策などが取り上げられている。

なお、役員は【顧問】地元選出国会議員【会長】小野知事【副会長】坂県議会議長、高垣和歌山市長、土井和歌山商工会議所会頭【委員長】平越県議会議員【幹事長】大橋副知事がなり、委員二十一人、幹事十八人からなっている。

台風十五号の被災者の皆さんに心からお見舞い申上げます。県では早期復旧に全力を注いでいますが、皆さんも何とぞ自力再建の決意でご奮闘されるようお願いいします。

昭和三十四年十一月

和歌山縣知事　小野真次

おことわり

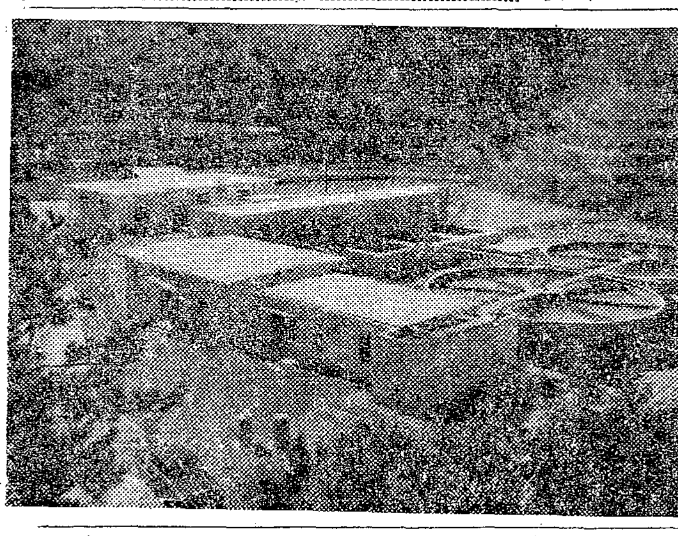
十二月一日発行の県民の友は都合により休刊の予定です。

海南市民に喜び

待望の紀の川工水完成

昭和二十一年の南海大地震以来、地盤沈下による影響をうけて、地下水が枯れたり塩水が浸入したりして、困っていた海南市の工場地帯へ工業用水を送る〝県営紀の川工業用水道〟が完成、十一月五日に完工式が行なわれることになった。なお名前は工業用水道であるが、飲料水にもことかく海南市民のために、一部を上水道として給水することになり、その割合は一日当り工業用水に一万二千八百トン、上水に七千二百トンとなっている。

この事業は昭和三十一年度に着工、はじめ水源を貴志川にする予定であったが、水量不足で一日二万トンの水をとれないことがわかり、紀の川から取水することになった。このため送水管は和歌山市八軒家の取水地から海南市室山の浄水場まで、県道沿いに延々十キロ余も敷設され、水源地施設をはじめ送水設備、浄水道設備を含めた総事業費は三億五千万円となった。なお県が施工したのは浄水場までで、各家庭や工場への配水施設は海南市が事業を行なった。



海南市室山にできた浄水場

青少年によい環境を

——改正された少年保護条例——

こどもたちをよい環境の中で育てるために、全国にさきがけて本県が少年保護条例を制定してから八年、社会情勢の変化にともない、青少年をとりまく環境もまた複雑になつてきた。とくにここ数年来、青少年に好ましくない映画や図書、広告などがはんらんし危い玩具や刃物が店頭に並べられて、そのために青少年の性的犯罪や粗暴な行ないが多くなり、新聞紙上をにぎわすようになった。これは全国的な問題でもあるが、青少年の福祉に努力している本県にとっても、まことに憂慮すべき問題である。たまたま「こどもを守るために」とたち上った婦人団体や母親クラブの世論も大きく、同じ悩みをもつ県民の声にこたえ、九月県議会で少年保護条例が改正された。ところでこの条例は、県民の理解と協力によってはじめて活かされるものであり、そのためには条例の目的や内容を十分県民に知ってもらわなければならない。そこで、以下その概要をお知らせしよう。

大人の良識に期待

こどもを守る愛の条例

少年保護条例は、こどもたちをよくない環境から守ろうとする県民の「愛の条例」であり、社会の良識に訴えて青少年をとりまく周囲を規制しようとするものである。しかし反面、最も感じやすく不良化しやすい、六才から十八才までの青少年を対象としたものであり、これら青少年の人権を不当にじゅうりんすることのないように また県民の健全な営業をさまたげることのないように考えられたものである。あくまでも大人たちの謙虚な反省に期待し、青少年を健全に育成するために、有害と思われる環境に近づけないようにしようという、県民お互いの約束にほかならない。この条例では、少年にさせてはならないことを次の七項目にわけてきめている。

◇深夜外出の禁止◇

保護者は、特別の事情がない限り、夜十時から翌朝四時までの間に、少年を一人で外出させてはならないし、他の大人は、保護者に頼まれたり許しを得たものでなければ、その時間に少年を同伴して外出してはならない。

これに違反して外出していると認められる少年を発見した場合は、その少年を保護することができるし、少年の保護者に通知してその引取りを求めることになっている。この引取りの請求に対し、正当な理由がないのに応じなかった保護者は、科料に処せられる。

◇質受・買受の禁止◇

県民は誰でも少年から品物を質にとったり、買い受けたりまたは質入れや売却の委託を受けてはならない。しかし保護者の同意を得ていると認められる理由がある場合とか、少年が業として品物を売る場合は別である。なおこれに違反したときは、一万円以下の罰金か科料に処せられる。

◇有害興行の観覧の禁止◇

著しく性的感情を刺激するとか、著しく粗暴性を助長するとかで、少年に観せることがその健全な育成を阻害すると認められる映画、演劇、演芸などを少年に観せてはならない。またこれらの興行主は少年の入場禁止の掲示をしなければならないし、もし少年に観せた場合は二万円以下の罰金か科料に処せられる。

◇有害図書の販売等の禁止◇

興行の場合と同じ条件で、少年に見せたり読ませたりすることが、その健全な育成を阻害すると認められる図画や写真・雑誌その他の刊行物を、少年に売ったり貸付けたりしてはならない。もしこれに違反した者は、二万円以下の罰金か科料に処せられる。

◇有害刃物類または有害がん具類の販売禁止◇

構造やはたらきが、人の体に危害を及ぼすおそれがあるために、少年に持たせることがその健全な育成を阻害すると認められる刃物やおもちゃを少年に売ってはならない。もしこれに違反した場合は、二万円以下の罰金または科料に処せられる。

◇広告物に対する措置命令◇

興行の場合と同じ条件をもつ広告物に対しては、少年に見せないようにするために、その内容を変更したり、撤去したりするなどの措置がとられる。これに違反して、命じられた措置をとらなかった場合は、二万円以下の罰金または科料に処せられる。

◇賭博類似行為の禁止◇

マージャン屋でのマージャン遊技、射的遊技場での射的遊技、パチンコ屋でのパチンコ遊技、スマートボール屋でのスマートボール遊技を少年にさせてはならない。

もしこれに違反した場合は、一万円以下の罰金または科料に処せられる。

以上の七項目についてとりきめられているのであるが、このうち改正で新たに加えられたのは、有害図書と有害刃物と有害がん具と有害広告物である。

処罰が目的でない

県民お互いのいましめに

前述のような少年に有害と認められるものを発見した場合あるいは県民から要請があった場合、県では先ず児童福祉審議会にかけてその意見を聞くことになっている。児童福祉審議会とは、児童福祉に関係ある行政機関の人や、県民の中で特に児童福祉に関心の深い学識経験者ら二十名によってつくられた会で、いいかえれば県民の声を代弁してくれる会である。県ではこの人々の意見を参考として、少年に有害であるかないかを決定する。そして、決定すればできるだけ早く業者に通知するとともに、県報や新聞などで県民にもおしらせする。もしここで、こうした県の処分に不服のある業者は、その処分を受けた日から十日以内に異議を申立てることができる。この場合県は再び調査し審議会にきいて誤りのない決定をするようになつている。なお少年にみせたり、売ったり、させたりすることがよくないと決定されたものについては、まちがいのない営業をしてもらうために、県のきめた調査員が調査にゆくことがある。

この条例は、ことしの十二月十日から施行されるので、あと一カ月の期間が残されている。この間に県ではできるだけ県民にこの条例をよく知ってもらうよう努力することになっているが、県民の方でもよく研究してまちがいのないようご協力を望んでいる。もちろんこの条例は、先にも述べたとおり、よくないものについては罰則が設けられているのであるが、もともと処罰するためにつくった条例ではなく、青少年にみせたり持たせたりすることが好ましくないものは、一つでも多くとり除いていこうという、お互いのいましめのためにつくられたものである。そしてできるだけ優秀なものを青少年に与えるために、この条例では定められていないが、別の方法で児童福祉審議会が、よい映画や図書を推せんすることになっている。とにかく、青少年に悪いものは一つでも少なくし、よいものを一つでも多くしていこうとするものである。

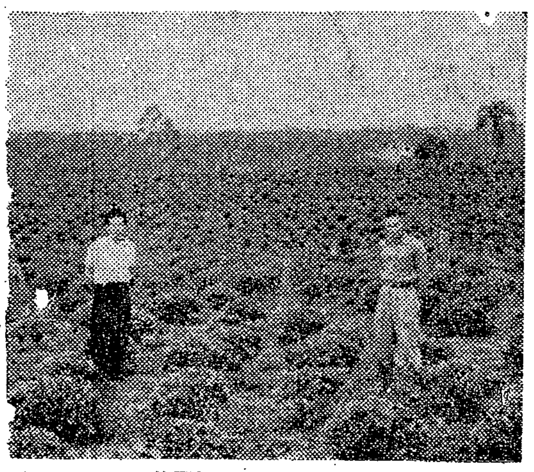
以上のように、この条例は児童福祉法の精神にもとづき、すべての県民が児童の心身を健全に育成するための努力を約束するものであり、県民の良識によつてこの条例を活かしていきたいものである。

力強い県人の生活

各地で呼寄せを約す

南米移民船の助監督として七月二日神戸を出港、約三カ月間中・南・北米を巡り派米農業労務者の終了生とともに帰朝した県移民課長藤本定明氏に、ブラジルの移住地の印象を記してもらった。

移民団の一行は八月十一日世界三大漁港の一つリオデジャネイロに到着、ここで県人会長竹中氏、日本人会長白戸氏らに迎え……ルの概要を聞く。サントスに十三日上陸し、二日目の夕方汽車でドラードスに向う。輸送指揮官はマリリヤ出身の沖周二郎氏（和歌山不動産会社……の差し入れをいただいた。県人会長竹中儀助氏の案内でモジ、イタケーラ方面の移住地に入る。こゝは有名な桃、野菜園のあるところだ。こと……からしても力強い生活意慾がうかがえる。イタケーラの桃はちょっと強い風にたたかれたというが、古久保氏（上山路出身）を合わせて、それぞれ二家族から五家族の呼寄せ移民を引受けてくれた。カンピーナスの東山農場で、はからずも田中三重県知事とお会いした。田中知事も適当な移住候補地を探していられるらしい。ドアルチーナまで汽車で行く。ここは潮岬出身の村上達三氏の地盤だ。バウルが……ので、途中移民呼寄せの……



……本、野口両氏の茶園（サンパウロ州レジストロ）

……浮いて見えた。一軒……をお尋ねして希望と苦労の体験談を聞く。約一年経ったコーヒー樹は小さな枠型からはい出……いう友情を見せている。四十家族を超えることになったこの耕地にも、農協組合事務所や学校もできた。政府の補助……

引揚者給付金の支給範囲ふえる

——該当者は手続きをはやく——

カナダ・ペルー・ドイツ・イタリヤなどの地域から終戦後引き揚げた者には、引揚者給付金等支給法の適用が保留されていたが、次に掲げる事項に該当する者にはこの法律による引揚者給付金または遺族給付金が支給されることになった。なお、これらの地域から引揚げた者で、次に掲げる事項に該当しない者、または他の地域から終戦後引揚げた者であっても、終戦前後から当該国出航までの生活状況および引揚げるに至った事情を調査のうえ、終戦に伴なって発生した事態による外国官憲の命令、生活手段の喪失などやむをえないものであったと認められる場合は、前記の者と同様給付金が支給されるので、該当者は至急住所地の市町村役場へ請求書（用紙は市町村役場にある）を提出するよう係では呼びかけている。なお、この給付金を受給する権利は、来年の五月十六日限りで消滅するので特に注意が必要である。

①昭和二十一年六月から昭和二十二年初頭にかけて、カナダから送還船で引揚げた者。

②開戦直後ペルー政府の命令により、ペルーから米国に移送され、終戦後昭和二十一年までの間に米国から直接引揚げた者。

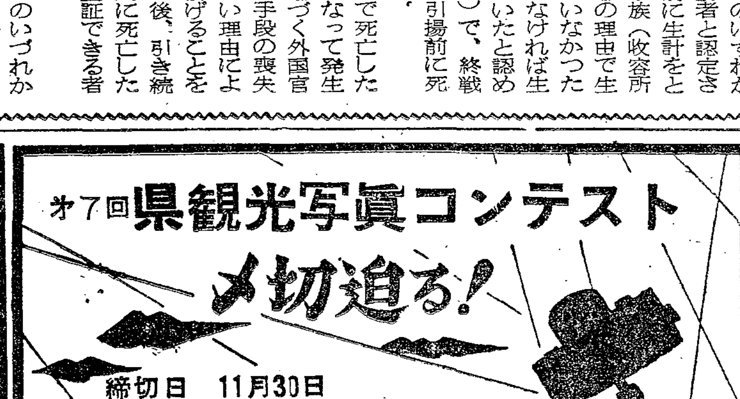
③終戦後ドイツ・イタリヤから送還された者、またはドイツ・イタリヤの敗戦後これらの国から米国に移送され、終戦後米国から直接送還された者およびソ連を経由して終戦後引揚げた者

④①から③までのいずれかに該当し、引揚者と認定された者と引揚前に生計をともにしていた家族（収容所を異にするなどの理由で生計をともにしていなかったが、その事由がなければ生計をともにしていたと認められる者を含む）で、終戦後当該引揚者の引揚前に死亡した者の遺族。

⑤④以外の外地で死亡した者は、終戦に伴なって発生した事態にもとづく外国官憲の命令、生活手段の喪失などやむをえない理由により、本邦に引揚げることを余儀なくされた後、引き続き外地にある間に死亡したことを明確に立証できる者の遺族。

⑥①から③までのいずれかに該当した後、昭和三十二年三月三十一日以前に死亡した者で、死亡の当時二十五才以上であった者の遺族。

……席・カフ
……告などで
……は、必ず
……を
……しよう。



ブラジル飛びあるき

藤本定明

カット写真は和歌山不動産の移住地

自家発電で点燈

コーヒー二本で一俵とれる

中伯の中心街マリリヤでは、先年帰国された小西安次郎氏（竜神出身）の荷台工場、松原安太郎氏の御曹子義和氏の事務所をおとずれる。リオフエーロのゴム植民地の入植についていろいろ討議し、再会を約して去る。こゝで、滝谷芳三（新宮出身）沖周一郎（大島出身）両氏の大農場に、青年の集団呼寄せ移民を実現できた。最初は若夫婦を入れて十五ケースだが、この中には養鶏、酪農に経験のある方も入れることになっていて、都市も近いところから夜学にも通わせ、移民の中堅どころを養成しようとする試みだ。

滝谷、沖両氏が、自分達の後継者をつくろうと心血を注がれたひっ生の事業でもある。ロンドリーナ（パラナ州地区の大都会）への空路は快晴で眼下には整然としたコーヒー耕地が展開し、その樹勢もサンパウロ州より黒ずんで威勢がよい。十二万本のコーヒーをもつという大屋五郎氏（色川出身）農園、味村宇喜氏（岩出町出身）農園は、二本で一俵近くも採れるという最盛期。土地が一アルケール五十コントもするという。

ロンドリーナ市から六時間のところにある東八重彦氏（宇久井出身）耕地を訪問する。すでに十二家族も呼寄せられ先輩になる三家族は相当の金を残し、昨年の暮移住した家族や、本年の移民諸氏はまだ手探りだというが、十日毎に建てられた木造の住宅にも、それぞれ趣味を生かして生活を楽しんでいる。ここでは自家発電で夜十一時まで点燈されている。

先輩移民の友情

早くも作業で真黒に

ミカンの共同出荷販売には県も特に努力し、柑橘農家の協力を呼びかけてきましたが、その成果は決して十分とはいえず、他県に比べても愛媛県や佐賀県の九〇%、山口県の八五%、静岡県の七〇%に対して、本県は僅かに五五%という低調です。そのため品質や味では最もすぐれている紀州ミカンが、四国や九州地方のミカンに押され、東京や大阪の大市場から追い出されつつある現状です。

東京市場での入荷率を例にとってみても、昭和十五年には本県のミカンが二三%を占め、愛媛県は僅か八%に過ぎなかったのが、昨年は愛媛県が実に四六%を占め、本県は一五%に減っています。

伝統ある紀州ミカンの名声をとりもどすためには、品質の揃った大量の品を、市場へ計画的に連続して出荷することが大切です。生産者がお互いに競争して、バラバラに「ぬけがけ」の販売をすることは市場の信用を失ない、業者に買いたたきの機会を与え、価格が不当に暴落して取返しのつかぬ損をします。ことしこそ一人残らず共同出荷をして紀州ミカンの名声を高めましょう。

ことしこそ共販で

紀州ミカン 市場の信用回復へ

ミカン列車運転きまる

天鉄局で愛称を募集

ことしの紀州ミカンを輸送するため、次のとおりミカン専用列車が運転される。

▽汐留行＝十一月三十日から十二月二十四日まで運転。紀伊湯浅駅一七時四五分発汐留駅翌日十九時一五分着

▽北海道行＝十一月二十六日から十二月十六日まで運転。紀伊湯浅駅二一時二八分発

なおこの列車に、ミカン列車としての機能を十分発揮させるため、出荷者は特に次のことを励行するよう呼びかけている。

▽一車一荷受の励行＝一つの貨車に積むミカンの荷受人は必ず一業者とすること。したがって、一車にまとまらないときは、まとまるまで待って積みこむこと。

▽同一荷姿の積載＝一つの貨車には同じ容器のものを積みこむこと。

また天王寺鉄道管理局では次のとおりミカン列車の愛称を募集している。

用紙＝官製はがき。北海道行と汐留行を別葉とし、一枚一件とする。△宛先＝大阪市阿倍野区松崎町天王寺鉄道管理局営業部貨物課内鉄道貨物協会天王寺支部△締切＝十一月十五日（着信のもの）△発表＝十一月二十日△賞＝当選（各一名）五千円と記念品。佳作（各二名）二千円と記念品△その他＝同文の場合は抽せんできめる。

県代表に桑さん

スキムミルク料理のコンクール　六人が実演

全国スキムミルク料理コンクールの県代表をきめる県大会は、十月九日和歌山市の市民会館で行なわれた。審査員や一般聴講者が見まもる前で、県下各地区の代表六人がそれぞれ腕に覚えの料理を実演披露した。

料理はA（粉食献立）B（家庭一品料理）C（おやつ）の三部門にわけ、一人前三十円以内で、おいしく栄養があって、しかも見た目にもきれいなものといった基準で審査され、次のとおり入賞者が決まり、県代表には桑正子さんが選ばれた。桑さんは十一月十六・十七の両日東京で開かれる全国大会に出場する。

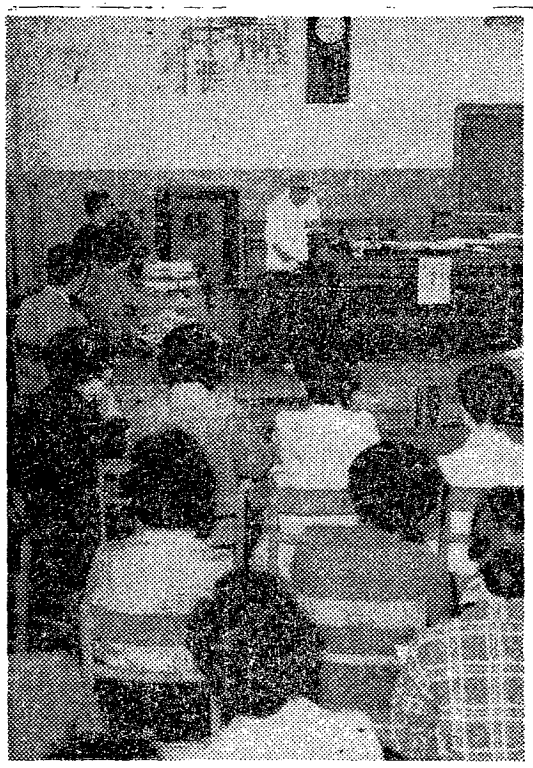
▽A部門＝一位五色スイトン＝汐崎佐智子（那智勝浦町）二位サンドイッチ二種＝大沢資子（すさみ町）

▽B部門＝一位ミルクトーフ＝桑正子（美山村）二位クリームライズ＝梅村栄子（金屋町）

▽C部門＝一位なかよしだんご＝小門愛子（貴志川町）二位バナナプディング＝小池璋子（和歌山市）

なお以上の六人は、県下二百六十三人の応募者の中から、保健所単位のコンクールを通過し、さらに県の書類審査に入賞した人である。午後は表彰式ののち大阪市立大学教授茶珍博士の栄養講演があり四時過ぎに散会した。

＝写真は料理の実演審査



選挙人名簿の「縦覧」とは？

市町村選挙管理委員会では毎年9月15日現在で、住民登録や配給台帳などを参考にして選挙権のある者（①日本国籍を有する者②その年の12月20日現在で満20才以上の者③9月15日まで引続き3カ月以上同一市町村に在住する者④禁治産者や禁こ以上の刑に処せられていない者）を調査し、10月30日までに基本選挙人名簿を作ります。しかし選挙管理委員会が一方的に調査して作るので、調査洩れや誤りがあるかもしれません。

そこで11月5日から19日までの15日間、この名簿を一般に公開して、記入洩れや誤りがないかを確認してもらいます。これを選挙人名簿の「縦覧」と呼んでいます。縦覧期間中は市役所、町村役場、支所、出張所などで、朝8時半から夕方の5時半まで縦覧できるよう準備していますから、ぜひ一度は自分の名前が載っているかどうかを確かめてみましょう。

売るのも買うのも必ずメートル法で

ことしの一月一日から、取引きや証明に使う計量の単位がメートル法に統一され、一般県民の間にもだんだん浸透していますが、まだ実行率は七〇%といったところです。

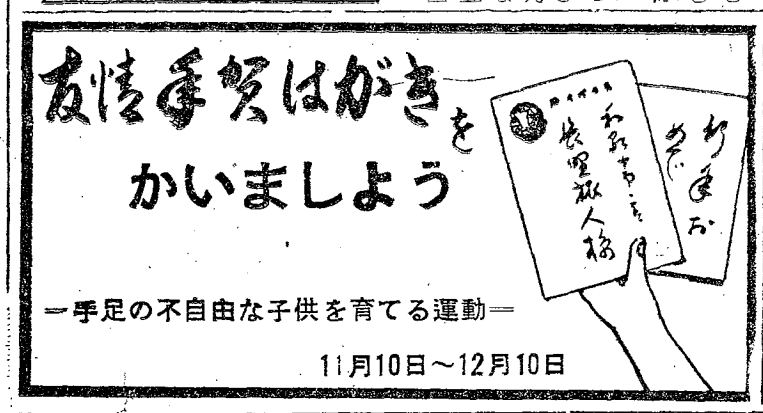
メートル法は複雑な計量の単位を、簡単で合理的にまとめるために生まれたものですから、馴れれば大変便利になります。

しかし、今までの百匁や一ポンドを、ただグラムになおして値段をつけるというようでは、売る方も買う方もかえって不便です。百匁あるいは一匁当りの値段にするのが最も望ましいのですが、それがどれくらいの量か見当がつきにくいというこもあるので、馴れるまでは百匁にかわるものとして四百匁（一〇六・六匁）当りの値段にするのも一つの方法でしょう。それと同時に、売る方がメートル法を実行しても、買う方が尺貫法で買いに行ったのではうまくいきません。一般の消費者もよく理解し協力して、一日も早くメートル法を完全に実行しましょう。次に、メートル系の目盛とメートル系以外の目盛がいっしょについている計量器は、昭和三十七年一月一日以後は使えないことになりますから、それまでに計量器はすべてメートル系の目盛だけにしておきましょう。

換算表

40グラムは…約	107匁	
1キログラムは…約	267匁	
2デシリットルは約	1.1合	
2リットルは…約	1.1升	
3平方メートルは…約	0.9坪	
1アールは…約	30坪	
（100平方メートル）		
1メートルは…	曲尺	3.3尺
	鯨尺	2.64尺
		1.09ヤール

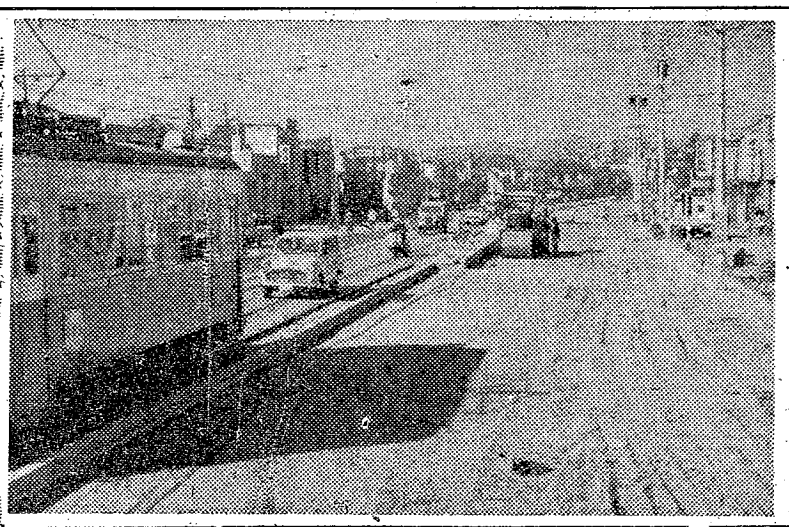
旅館・料理店
エー・ペー・
料金を支払う
公給領収
受取



市内版

◇貯蓄増強運動◇
しあわせは
日毎の汗から
貯蓄から

すすむ舗装工事
年内に相次いで完成



和歌山市の戦災復興事業による街路の拡巾築造は着々進み十年ひとむかしの諺どおり主要幹線道路の築造、駅前広場の拡張、公園の設置など、立派な都市計画が完成しつつあるが、戦災復興事業と併行して都市計画による街路舗装も行ない現在既に新町線などが舗装され面目を一新している本年度は市内主要幹線道路である和歌山港―秋月線、国道和歌山―松坂線、和歌山―海南線が舗装されつゝあり、引続き昭和三十五年度には、和歌山港―秋月線（大橋―公園前）、新町線の傍側車道の舗装をするよう準備している。禍を転じて福となすためこれら幹線道路の舗装完成のあかつきは旧藩政下の田街路や道路は近代的な直線道路となり戦後の頻繁な交通に対処し、運輸経済の発展などその利益と恩恵ははかりしれないものがある。

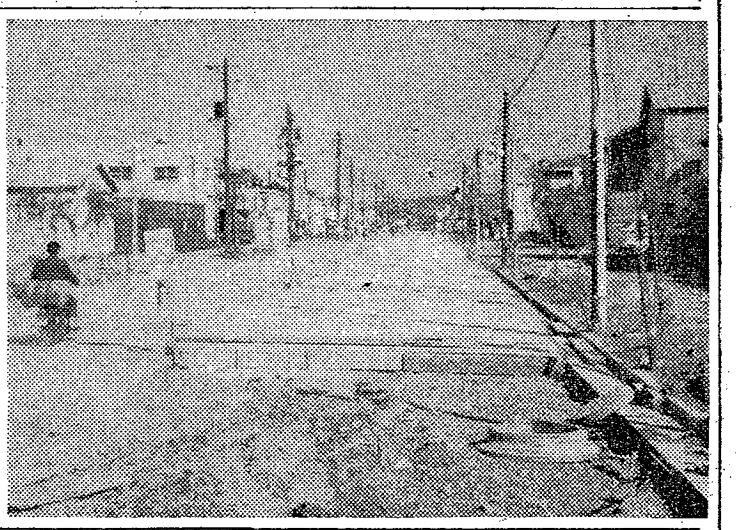
なお、本年度の主要幹線道路舗装工事の内容は次のとおり。

▽和歌山港―秋月線（田中町四丁目―大橋）延長五百三十㍍、巾員十一㍍、工事費百十一万円で十一月末完成の見込

▽和歌山―海南線（手平吹屋町地内）延長七百三㍍、巾員六㍍、工事費八百四十万円で九月中旬に完成。

▽国道和歌山―松坂線（真砂町―小松原通五丁目）延長東側三百六十㍍、西側二百七十㍍、巾員三十六㍍、工事費六百六十万円で十二月末完成の見込。

▽和歌山市停車場―新和歌浦線（船津町地内）延長三百八十㍍、巾員九・五㍍、工事費二百九十六万円で昭和三十五年三月末完成の見込。



写真は病院前（上）と田中町附近（右）の舗装工事

条例制定し
競技場使用が平易に

九月定例県議会で新らしく制定された和歌山県都市公園条例ならびに同規則は、十月末から施行するが、主なことがらは次のとおり。

競技場を個人で練習用に使用するときは、いままでの申請手続は一切不要となり、現場で規定の使用料を納めると使用できるようになっている。

なお、今後野球場、競技場、庭球場、水泳場の使用料は特別の理由を除くほかは、「使用のとき」現場で使用料を納めるとよいわけである。

詳細は県企業課へ。

航空交通管制職員を募集

人事院では昭和三十四年度運輸省航空交通管制職員を次の要領で募集している。

【募集人員】約六十名

【受験資格】日本国籍を有する男子で、国家公務員法第三十八条に該当しない次の各号に該当する者。

（一）学校教育法による短期大学を昭和三十四年三月以降に卒業した者か昭和三十五年三月末までに卒業見込みの者またはこれと同等と人事院総務課長が認めた者。

（二）①に掲げる者のほか、昭和七年四月二日から昭和十四年四月一日までに生れた者

【試験】第一次試験―昭和三十五年一月十七日に各人事院地方事務所で行なう。

【受験申込先】大阪市東区法円坂町、人事院大阪地方事務所ほか人事院各地方事務所。

【受付期間】十一月五日から十一月三十日まで。

【その他】申込用紙は受験申込先で交付する。郵送で請求する時は封筒の表に「航空申込用紙請求」と朱書し、十円切手をはった返信用封筒を同封のこと。詳細は同所へ問い合すとよい。

恒例の教育表彰
本市の関係者は六氏

今年も例年どおり教育功労者の表彰式が十一月二日県正庁で行われるが、本版関係では次の各氏が表彰される。

【学校教育関係】市内十一番丁、明楽治部輔＝桐陰高等学校PTA会長で、老朽校舎の改築に尽力し、PTAの総意を結集してPTA立替工事で新本館を竣工した。

▽市内新通り四丁目、坂口勝蔵＝城東中学校育友会長で、校舎の建築、運動場の整地、研究発表会の援助、地区児童生徒の不良化防止に物心両面から蔭の協力者として専念された。

▽市内吉田一八二、福島太一＝向陽高等学校PTA会長で昭和三十三年老朽校舎の竣工式を目前にして五月二十一日火災にあい、同年十二月再度火災をこうむったが、会長の適切かつ時宜を得た対策と地元負担金の調達に寝食を忘れての奔走によって復旧工事を竣工した。

▽市内西浜、有田光太郎＝星林高等学校使丁で、十年一日の如く三十一年間使命を全うした。

▽市内関戸古河坪、原田忠男＝県学校医会長で、学校保健の推進をはかるため県学校医会を結成し、会長としてまた学校保健連合会の副会長として学校保健振興に貢献した。

【社会教育関係】市内和歌浦一四〇、石川出＝県体育協会長の同氏は県バスケットボール協会長、県体育保健審議会委員、県社会教育委員、県ユースホステル協会長の要職にあり、本県の体育振興に献身的な努力を続けられている。

本を贈る会生る
図書館　協力を呼びかけ

今年も十月二十七日から十一月九日まで読書週間となり、全国各地では種々の計画が立てられているが、県立図書館では「本を贈る会」を設けて読んでしまった本を出し合って親のない不幸な子供の施設や不便なところで活動している子供の会や、水害をうけた地域の子供に贈ってあげようと県民に呼びかけている。

なお、この会の参加方法は次のとおり。

宛先　和歌山市一番丁県立図書館内「本を贈る会」宛

本を送る方法　①直接持参するか、送ってもよい②紀南の人は田辺市上屋敷、県立図書館紀南分館へ届けてもよい。第一回の期間は十一月十日まで。

県政映画12号完成

県政映画第十二号が完成し、ただいま県下の常設映画館で上映中。主な項目は▽二級国道新宮―大和高田線遂に開通▽紀州観光キャラバン隊東京へ▽第十二回農業まつり開く▽十五号台風の災害特報

なお、十六ミリ用映画フイルムも無料で借出してますから希望者は文書広報課へ。

11月の広報番組

NHK　BK 670KC

毎土曜日	午前6.15―6.30	村のひろば
毎月曜日	午後4.40―4.55	和歌山県民の時間
毎木曜日	午前11.50―11.55	おしらせ

四国放送　JR 1280KC

毎水曜日	午前6.00―6.15	農家のみなさん
毎日曜日	午前6.25―6.30	おしらせ

和歌山放送　VF

和歌山1500KC　田辺800KC　新宮1.560KC

毎　日	午前6.00―6.10	農林水産だより
毎　日	午前6.10―6.15	県広報
毎日曜日	午後9.30―9.45	県政の夕べ（録音構成）

11月1日（月曜）四国地方開発問題について
11月8日（〃）四国地方開発問題について（続）
11月15日（〃）中小企業退職金共済事業開始に際して
11月22日（〃）和歌山県の観光
11月29日（〃）みかんの共販態勢確立へ

高年病相談所の開設日決る

県では、ガン治療を中心とした高年病対策として関係者の協力を得て、県下の保健所や各医療機関で高年病相談所を設置しているが、市内の相談所の開設日が次のとおり決定した。

▽蓑川病院（湊通り丁）木曜日九時―十一時▽浜外科病院（小松原通三）水土曜日九時―十二時▽橋本病院（東徒町）水木金曜日二時―五時▽山崎医院（薬部）火金曜日一時―六時▽堀口整形外科病院（本町五）木曜日二時―五時▽千代延医院（十二番丁）水曜日二時―五時▽医大附属病院（七番丁）火金曜日二時―五時▽日赤病院（小松原通）木曜日九時―十二時▽市医師会事務所（真砂町）火曜日二時―四時▽長谷川医院（東長町）火木曜日九時―十一時半▽秋葉医院（和歌浦）水曜日九時―后九時▽芳山医院（才賀屋町東）木曜日一時―五時▽済生会和歌山病院（手平）木曜日九時―十一時、一時―三時▽和歌山医大病院（公園前）火木曜日九時―五時▽住友病院（古屋）月金曜日一時―三時▽和歌山保健所（友田町）水金曜日九時―十二時▽神田病院毎日（日曜祭日は除く）九時―三時。

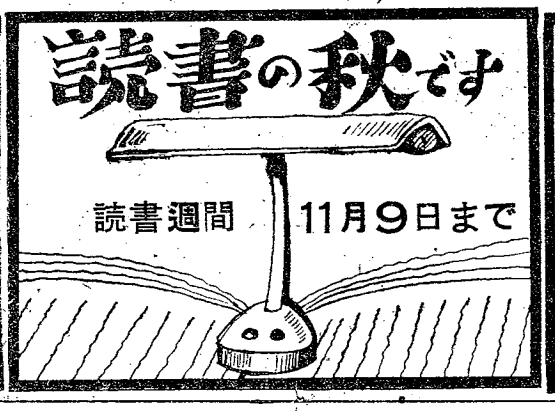
金融相談がトップ
中小企業相談所の実績

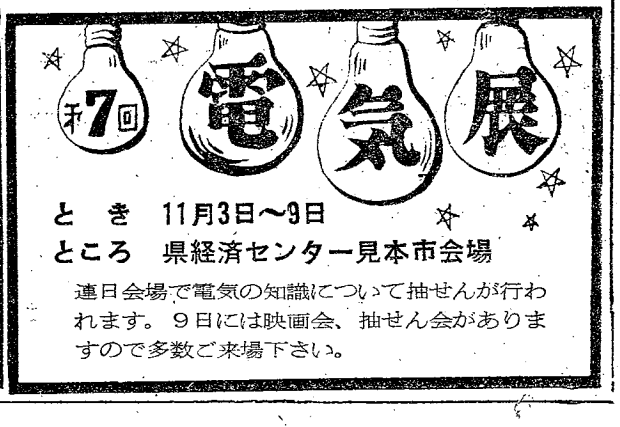
中小企業の振興発展をはかるため本年一月から県経済センター（和歌山市西汀町）に開設されている〝中小企業相談所〟では、商工相談、企業診断などを行ない、関係者の期待にこたえているが、九月末までの実績は次のとおりである。

【商工相談】相談の形態には面接による来所相談と書面による文書相談および巡回相談の三通りがあり、企業経営のあらゆる部門にわたって相談に応じており、商業部門百十件、工業部門百六件、計二百二十六件に達している。金融・経営・取引・経理関係などが多く、中小企業、ことに零細企業の悩みを如実に物語っている。

【企業診断】企業体を直接あらゆる角度から検討して、経営を健全に発展させるための改善案を示す診断事業も最近ますます利用度が高まっており、申込件数全部を消化することが困難な状態であるが、別表のとおり工場十二、商店五十七、計六十九企業の診断を実施し、経営の合理化に大きな成果をあげている。

診断別＼部門	総合診断	部門診断	計
商　業	4	53	57
工　業	7	5	12
計	11	58	69





海草・海南版

◇貯蓄増強運動◇
しあわせは日毎の汗から
貯蓄から

共販への体制整う
下津に新しい選果機

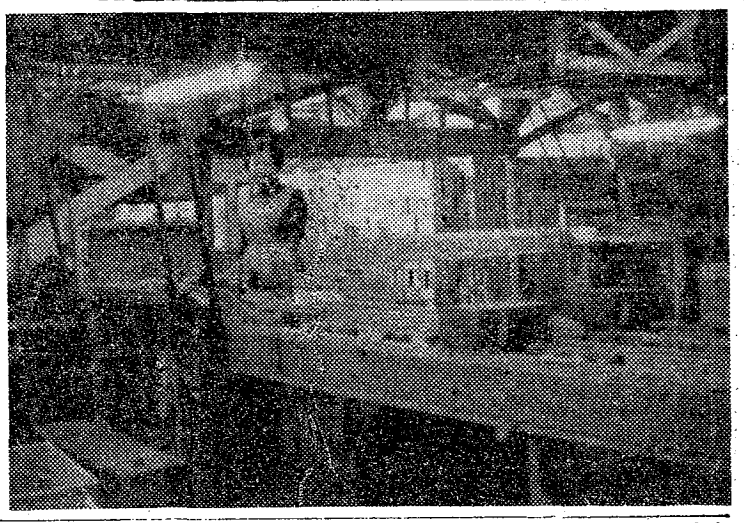
全国一の味と品質をもちながら、あんこ詰めや個別に少量ずつ無計画な出荷で、市場や消費者からたびたび苦情が出た紀州ミカンの悪評をばん回するため、下津農協（岩本諭一組合長）ではことしから新しい選果機を備えつけた。

この選果機は同農協が各地の選果機を見てさらに改良を加え、約四百六十万円を投じて独得のワックス処理機、階級別品等別選別機、個数計算機などを設備したもので、生産者が持ちこんだミカンをすぐ階級別、品等別にわけ、それぞれの個数が機械的に算出されるという画期的なもの。

選果工程はすべてオートメーション化され、先ず選果場に持ちこまれた果実を秤量し、不良果（ガラ）を除いてワックス処理機にかけ化粧する。次に選別機にかけて飛・特・沖・乃・白・帆・玉の七階級に選別し、さらに階級ごとに優・良・花（金・青・赤）の三品等に区分してベルトコンベアで個数計算機にかけ、自動的に個数が記録される。こうして選果されたミカンはすぐ箱に詰めて荷作りされ、キャリア（下津スーラー）で積荷される。

この選果設備によって作業能率は一時間六―七㌧（千毎五百貫―二千貫）となり、十二月の出荷最盛期には一日七十五―九十㌧（二万―二万五千貫）を選果することになる。

下津共選場で取扱うミカンはいまのところ一日四―六㌧であるが、十一月中旬までに約百五十㌧の早生ミカンを取扱い、それ以後来春にかけて約三千四百㌧（九十万貫）を選果する。つまり旧下津町のミカンの七〇％を取扱うわけで北海道をはじめ東京・京阪神東北・北陸などの各市場へ計画的に出荷し、下津ミカンの名声を高めることになる。



＝写真は下津農協の選果機

林業研究発表大会

農林事務所では九月二十九日正午から海草郡美里町公民館で、林業技術普及事業十周年を記念して林業関係の研究、体験発表大会を開催した。当日は地元林業家をはじめ林業改良指導員全員が日頃の経験や研究を発表して意義ある大会であった。

危い左側の歩行
譲りあって事故防止へ

秋の交通安全運動は十月二十五日で終ったが、その結果は必ずしもよいとはいえなかった。そこで、これからも毎日一般県民の注意しなければならない点として、警察では次のような点をあげている。

○…運転者も歩行者も、互いに譲りあうことが大切であるが、これをしないために他人に迷惑をかけ、また不幸な事故の原因になることが多い。たとえば「狭い道路から広い道路へ出るときは、一時停車するかまたは徐行して、広い道路にある車馬や軌道車に進路を譲らなければならない」「手信号による交通整理が行なわれていない交差点で、右折しようとする車馬や軌道車は、直進または左折しようとする車馬や軌道車に進路を譲らなければならない」などの交通のルールがあるのに、これを無視している者が多いために事故を起している。

○…歩行者の右側通行が実施されてから十年になるが、まだ左側を歩く人も多くて交通を混乱させている。対面交通は、ちょっと考えると真正面からぶつかるように思うが、実際は遠くからよけあうので最も危険が少ない。事故統計をみても、左側を歩いていたために起きた事故は、右側の場合の二倍以上もあり、左側通行の危険率ははるかに高いことを示している。

○…無謀運転による事故も増えている。無謀運転とは酒に酔って運転したり、無免許の未熟な者が運転したりすることで、とくに酔っぱらい運転による事故は昨年県下で六十七件あり、事故原因の第五位を占めている。寒さに向う折から、飲酒の機会も多くなるが、運転者はとくに注意しなければならない。

校医さんら四人
本版関係の教育功労者

今年も例年どおり教育功労者の表彰式が十一月二日県正庁で行われるが、本版関係では次の各氏が表彰される。

【学校教育関係】▽西川準一（大成高校教諭・海南市阪井）職業指導主事として伝統のよくない不利を克服、よく求人先を開拓して優秀な就職率をあげた。▽冬野広楠（海南高校PTA会長・海南市黒江）PTA発足以来十一カ年間、小学校、中学校、高等学校のPTA副会長および会長として教育の充実発展のため献身的な努力を傾注し、特に高等学校では運動場の拡張、講堂の内部設備、図書館建設に尽力した功績は大きい。▽上田駒之助（南野上、中野上小学校校医、海南市野上中）大正九年以来校医をつとめ終始一貫至誠をもってことにあたり、温厚な性格と豊富な経験から両校児童の保健衛生に尽力した。

【社会教育関係】▽川久保カネ代（海南市連合婦人会長、海南市鳥居）昭和三十年四月市町村合併により九地区の婦人会を統合して連合婦人会を結成、会員の指導育成に努力するとともに公民館運営審議会委員、青少年補導協会理事婦人団体協議会副会長など日夜社会教育関係事業全般にわたって活動を続けている。

契約移民を募集
ブラジルの東農場へ

ブラジル国パラナ州ジャカピタンで五百町歩、二十六万本のコーヒー園を経営する東牟婁郡出身の東八重彦氏（67）から四十家族二百人の大量呼寄移民の申込みがあった。募集条件は次のとおり。

【応募資格】①二十才以上三十才未満の農業経験の豊富な青年（単身）または一夫婦を中心に十二才以上の働き手三人以上ある家族②世帯員は身体強健で、身体障害者を含まない③無犯罪者で県警本部長の証明を受けられるもの④労務契約書作成費（現地）渡航手続費、移住斡せん所の諸経費を準備できるもの。

【雇傭契約】①労務契約書作成費七千円（同一戸籍にある一家族当）は移住者が負担②ブラジル到着後の輸送費は雇主が負担③コーヒー千本株の手入費は年六コント（一コントは二千五百円）男子一人当り四千株を持ち、毎月分割払いとする④コーヒー実採取賃金は一俵（百十五立）につき五十クルゼイロ（一クルゼイロ二百五十円）⑤雑作地は貸与される⑥コーヒーの間作に米作が許される⑦契約期間は二年で、三年目から歩合作が認められる⑧契約違反の場合は相互に損害賠償の責任を負う。以上の契約は家族移住者を対象とし、単身青年の場合は食住が雇主負担で賃金から差引く。

【募集締切】昭和三十五年一月末。送出は三月船の予定。なお、同氏から十名の単身青年移民も呼寄せている。

県政映画12号完成

県政映画第十二号が完成し、県下の常設映画館で上映しています。主な項目は▽二級国道新宮大和高田線遂に開通▽紀州観光キャラバン東京へ▽第十二回農業まつり開く▽十五号台風の災害特報

なお、十六ミリフィルムも無料で貸出していますから希望者は文書広報課へ。

高年病相談所の開設日決る

県では、ガン治療を中心とした高年病対策として関係者の協力を得て、県下の保健所や各医療機関で高年病相談所を設置しているが、郡、市内の相談所の開設日が次のとおり決定した。

▽海南市民病院（日方）火金曜日九時―二時▽海南市医師会事務所（日方新谷医院内）火曜日一時―三時▽丸善石油下津診療所（下津町）火曜日一時―四時▽新谷医院（美里町）水曜日一時―四時▽野上厚生病院（野上町）火曜日一時―四時▽初島病院（初島町）水曜日一時―三時▽海南保健所（日方）月水曜日九時―十二時

不幸な子らに本を
一冊でも多く贈ろう

今年も十月二十七日から十一月九日まで読書週間となり、全国各地では種々の計画が立てられているが、県立図書館では「本を贈る会」を設けて読んでしまった本を出し合って親のない不幸な子供の施設や不便なところで活動している子供の会、水害をうけた地域の子供らに贈ってあげようと県民に呼びかけている。

なお、この会の参加方法は次のとおり。

宛先　和歌山市一番丁県立図書館内「本を贈る会」宛

本を送る方法　①直接持参しても、送ってもよい②紀南の人は田辺市上屋敷、県立図書館紀南分館へ届けてもよい③遠方の人は毎月各市町村を廻っている県立図書館の自動車文庫たちばな号はまゆう号に渡してもよい④このほか市町村教育委員会や学校、子供クラブその他の団体でまとめてもよい

本を送るときの注意　この会に参加して本を送るときは、ところ、なまえ、年令、学校または団体のなまえを紙に書いて一冊ごとに本にはさむこと。

なお、本は子供向（小、中学校）の読みもの、雑誌参考書、その他で、本を送った人には「本を贈る会」員として名簿を作製し本人に送ることになっている。第一回の寄贈期間は十月二十日から十一月十日まで。

航空管制職員を募集

人事院では昭和三十四年度運輸省航空交通管制職員を次の要領で募集している。

【募集人員】約六十名

【受験資格】日本国籍を有する男子で国家公務員法第三十八条に該当せず、次の各号に該当する者。

（一）学校教育法による短期大学を昭和三十四年三月以降に卒業した者か昭和三十五年三月末までに卒業見込みの者またはこれと同等と人事院事務総長が認めた者。

（二）先に掲げる者のほか、昭和七年四月二日から昭和十四年四月一日までに生れた者

【試験】第一次試験―昭和三十五年一月十七日に各人事院地方事務所で行なう。

【受験申込先】大阪市東区法円坂町、人事院大阪地方事務所ほか人事院各地方事務所。

【受付期間】十一月五日から十一月三十日まで。

11月の広報番組

NHK　BK 670KC

毎土曜日	午前6.15―6.30	村のひろば
毎月曜日	午後4.40―4.55	和歌山県民の時間
毎木曜日	午前11.50―11.55	おしらせ

四国放送　JR 1280KC

毎水曜日	午前6.00―6.15	農家のみなさん
毎日曜日	午前6.25―6.30	おしらせ

和歌山放送　VF

和歌山1500KC　田辺800KC　新宮1.560KC

毎　日	午前6.00―6.10	農林水産だより
毎　日	午前6.10―6.15	県広報
毎日曜日	午後9.30―9.45	県政の夕べ（録音構成）

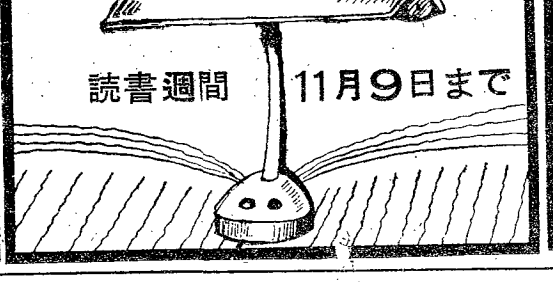
11月1日（月曜）四国地方開発問題について
11月8日（〃）四国地方開発問題について（続）
11月15日（〃）中小企業退職金共済事業開始に際して
11月22日（〃）和歌山県の観光
11月29日（〃）みかんの共販態勢確立へ

寄生虫を駆除しましょう

★年2回はかならず検便と駆虫をしましょう
運動期間中はもよりの保健所で無料相談をします。

寄生虫予防運動　11月21日～30日

読書の秋です



第7回　電気展

とき　11月3日～9日
ところ　県経済センター見本市会場

連日会場で電気の知識について抽せんが行われます。9日には映画会、抽せん会がありますので多数ご来場下さい。

那賀版

◇貯蓄強調運動◇
しあわせは
日毎の汗から
貯蓄から

猛威の台風十五号
郡内被害実に八億円

去る九月二十六日夜半潮岬南部に上陸した台風十五号は予想外に大きく、大台が原で百十二ミリの雨量を記録し、紀の川は増水して沿岸町村に大きな被害を与えた。堤防、農業用水路は随所に欠潰し、おしよせる激流は沿岸地域を泥沼と化し、豊作を夢見た田畑や家屋は流失して惨たんたる状況を呈した。県では直ちに那賀町、粉河町、桃山町に災害救助法を発動した。

この災害による被害は約八億四千万円に上り、秋の取り入れを目前にした農作物の被害は最も大きく、被害状況次のとおり。

【人的被害】軽傷四五人【被害世帯】▽家屋全壊一戸（七人）▽同流失二戸（十三人）▽同半壊三十一戸（百四十五人）▽床上浸水八百十九戸（三千百二十七人）▽床下浸水七百七十三戸（三千百二十七人）▽計一千六百二十戸（六千九百九十四人）【被害額】▽耕地関係五千百五十三万五千円▽農作物関係三億二千三十万九千円▽農業用家屋・農機具関係三千六百八十二万九千円▽農協関係一千六百八十四万円△林業関係八百九十一万四千円▽土木関係一億三千八百二十万円▽商工関係七千二百五十二万円▽住宅関係一億八千五百三十八万四千円▽公立学校関係二百八十二万七千円▽計八億三千三百三十五万八千円

＝写真はロープたよって隣家へ避難（麻生津地区）

喜ばれる姑さん
上名手に「五十路会」誕生

著しく進展する世相の中にありながら、依然として封建性の強い農村では珍らしい新しい考え方をもった老人の集りがある。那賀町上名手地区の「五十路会」がそれで、最高八十五才から最低五十九才の姑さんたち十七人で結成されている。

老人になると消極的になり愚痴っぽく、自然心もひらけず、若い人にはますます遅れがちになるので、これではいけないと話し合った末、姑層ばかりで集ろうということになり去る三十三年七月に「五十路会」（五十才より年をとるまいと名付けた）ができたわけで、月一回以上の常会を開き、次のような研究をして楽しく続けている。

▽若い人に好かれるお姑さんになろう▽世に遅れないように勉強しよう▽余生を面白く、楽しく有意義に暮そう。

なお、この会のリーダー沢田さんは「老人がよると嫁のあらさがしや隣、近所のうわさ話に終るものですが、このグループができてからすっかり心構えも変りました。生活改良普及員さんから料理の実習、生きる希望を失わないように講師を招いて講演を聴いたり、役場から映画会を催してもらっています。また、リクレーションにバレーボール、ボールもして楽しんでいます。若い人たちが私どもに援助してくれますし、本当に愉快な会です」と話している

＝写真はバレーボールに興ずる五十路の姑さん達

果樹増収はかり
荒見にかんがい施設

粉河町では荒見地区の果樹園百六十ヘクタール（百六十町歩）と水田五十五ヘクタール（五十五町歩）のかんがい事業を総事業費六千二百余万（本事業四千六百三十万円＝国庫補助四、地元負担金六の割合）で三カ年継続事業としてちかく着工する。同地区の果樹園や水田は竜門山腹に階段状にひろがっているため毎年干ばつによる大きな被害をこうむっているので、約四百㍍の山腹に貯水池を設け、紀の川から揚水して一六〇ヘクタールの果樹園に網状に埋没された配水管により畑地毎に給水管を布設し、給水栓に取付けたゴムホースで簡便にかん水して干ばつからまもろうというもので、同工事が完成すれば年間二千万円の増収が見込まれる。

なお果樹のかんがい国庫補助事業は全国でもめずらしく成果が期待されている。

今年は豊猟か
待望の解禁十一月一日

ハンター待望の狩猟解禁は十一月一日であるが、農林事務所ではこれに先立ち岩出町ほか一カ所で狩猟講習会を開き無事故の明るい狩猟の徹底をはかった。

今年は解禁とともに四百人を越すハンターが山へ獲物を追って入るものと見られている大物豊猟だとの予想でイノシシは例年より多いだろうといわれ、山鳩、キジ、バンもかなり棲息しているとみられている。

なお、毛皮獣類（主にイタチ）の猟期は十二月十五日から翌年二月末日までとなっているが、この期間はイタチが捕りにくくなるため猟期前の密猟が多いので取締を強化するが、猟友会員に取締の協力を同所では呼びかけている。

四町が財政立直し
赤字解消へ強硬措置

赤字財政で四苦八苦の打田、那賀、桃山、岩出の四町では新しい赤字団体の再建対策として地方財政再建促進特別措置法にもとづく「準用規則」の適用を承認され、このほど町別の再建計画が決定し、財政の立て直しに乗り出した。

これらの町は、合併による赤字の引きつぎ、事業のやりすぎなどから赤字を出したもので、いずれも再建には四年から八年の期間が必要とされる自治庁の方針は、適用団体には資金繰りに必要な短期の再建債を赤字がなくなるまであっせん、さらに利子補給も行なう予定だが、県は赤字を解消しながら本来の町行政を強く推進してゆくため各町とも赤字解消はもとより行政水準も現在より低下させないよう強く望んでいる。これら各町では徹底的に経費を節減するため、職員の人員整理、昇給停止、増税などの強硬措置も考えねばならず、きびしい再建計画が実施される予定である。

町別再建計画年数と三十三年

交通事故防止へ
タスキがけの新趣向

十月十六日から二十五日まで全国交通安全運動が展開され県下各地で多彩な催しが行なわれたが、岩出警察署では十六日午前九時から同署に都内の婦人団体、小学校児童、一般各会社代表五十余人を招き交通事故防止の意見を交換して、管内で起きた事故現場のスライドを見せ〝交通安全教室〟が開かれた。

午後からは「安全交通」と書いたタスキを掛けて貸切りバスに乗車、同署員の交通指導を車上から見学した。

十字路の歩行、道路横断の注意を同署宮本課長から教わり都内各所で「安全マツチ」を運転手に配り、安全運動を呼びかけた。

写真はタスキかけ道路横断の注意を聴く一行

校長さんら三氏
教育功労者で表彰

今年も例年どおり教育功労者の表彰を十一月三日県正庁で行なうが、本版関係は次のとおり。

【学校教育関係】永長幸夫（池田小学校長）＝郡小学校長会長ならびに県連合小学校長会副会長に推され、昨年度卒先して教組を脱退して本県教育界の建全な発展と育成のため幾多の苦心と努力を続けられた。

▽的場昇（荒川中学校長）＝郡中学校長会長で、郡PTAまたは単位PTAの協力と相まって教育の推進と校地校舎の整備充実に努力した。昨年は勤評斗争に教組を脱退して教育行政に尽くされた。

▽池浦ステ（山崎小学校使丁）＝正直と親切をモットーに二十二年間一日の如く勤務に精励し、特に足が悪く不自由な身をもっての勤務は実に涙ぐましいものがある。

好成績の投票率
粉河町議に26氏が当選

粉河町議会議員の選挙は十月八日行なわれ、新町議三十六人が決まった。当日の有権者は一万二千三十六人で、投票総数一万一千三百九十八、投票率は九三・八七％であった。当選者次のとおり。

田中清一郎（野上）上林勤（荒見）森泰（猪垣）丸山伊之助（上田井）中川政一（粉河）堀内巌（下丹生谷）岡正之大畑耕一郎（井田）奥勇二（長田中）前中哲哉（下鞆淵）田中正人（上鞆淵）藪上昌男（西川原）橋本良吉（粉河）児玉守（藤井）亀岡兼吉（中津川）樋口辰之助（粉河）辻内政助（馬宿）南方樟彦（深田）山畑圭司（北志野）中谷広太郎（下鞆淵）田中秀一（粉河）岡田真一郎（粉河）庄田音次（荒見）亀井泰夫（粉河）嶋勝治（風市）嶮井一雄（粉河）

高年病相談所の開設日決る

県では、ガン治療を中心とした高年病対策として関係者の協力を得て県下の保健所や各医療機関で高年病相談所を設置しているが、管内の相談所開設日は次のとおり。

▽那賀病院（打田町）火金曜日一時―四時▽岩出保健所（岩出町）月曜日九時―十二時

11月の広報番組

NHK　BK 670KC

毎土曜日	午前6.15―6.30	村のひろば
毎月曜日	午後4.40―4.55	和歌山県民の時間
毎木曜日	午前11.50―11.55	おしらせ

四国放送　JR 1280 KC

毎水曜日	午前6.00―6.15	農家のみなさん
毎日曜日	午前6.25―6.30	おしらせ

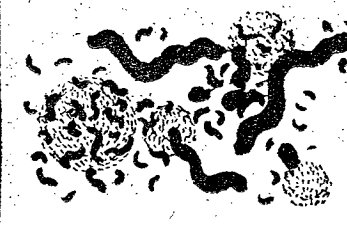
和歌山放送　VF

和歌山1500KC　田辺800KC　新宮1,560KC

毎日	午前6.00―6.10	農林水産だより
毎日	午前6.10―6.15	県広報
毎日曜日	午後9.30―9.45	県政の夕べ（録音構成）

11月1日（月曜）四国地方開発問題について
11月8日（〃）四国地方開発問題について（続）
11月15日（〃）中小企業退職金共済事業開始に際して
11月22日（〃）和歌山県の観光
11月29日（〃）みかんの共販態勢確立へ

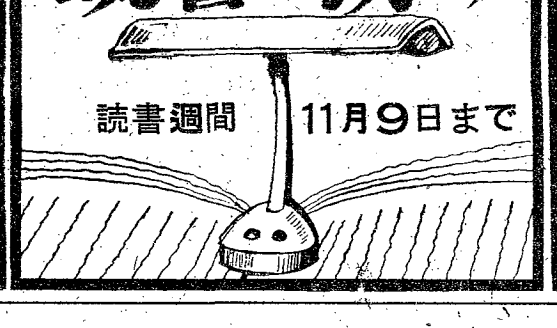
寄生虫を駆除しましょう



★年2回はかならず検便と駆虫をしましょう
運動期間中はもよりの保健所で無料相談をします。

寄生虫予防運動　11月21日～30日

読書の秋です



第7回 電気展

とき　11月3日～9日
ところ　県経済センター見本市会場

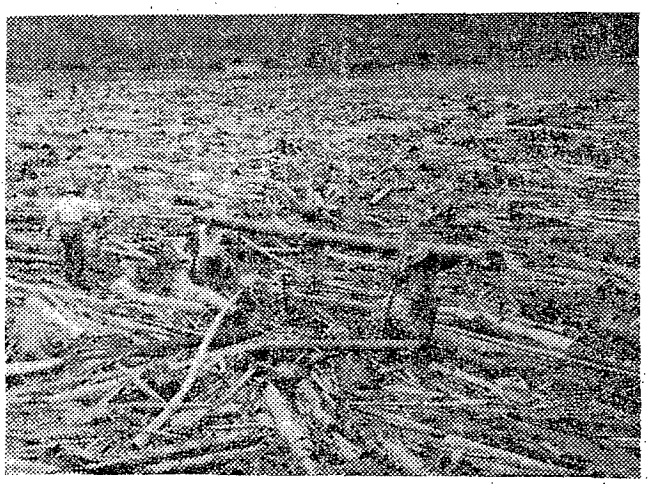
連日会場で電気の知識について抽せんが行われます。9日には映画会、抽せん会がありますので多数ご来場下さい。

伊都橋本版

◇貯蓄増強運動◇
しあわせは日毎の汗から貯蓄から

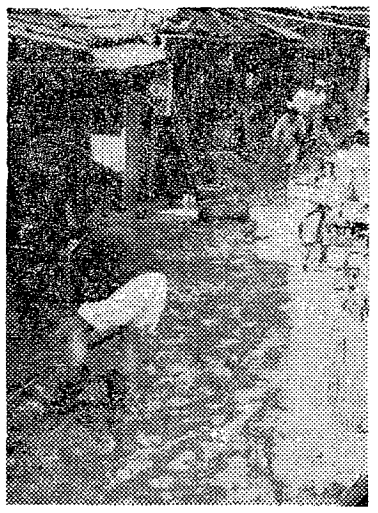
七・一八越す増水
郡内各地の被害甚大

九月二十六日午後七時すぎ潮岬に上陸した台風十五号は三重、奈良の県境を横断したため、大台ガ原、大峰山一帯に豪雨をもたらし、このため紀の川は増水して流域の橋本市、高野口、九度山、かつらぎ町など流木や泥沼で街は埋まり取入れを目前にひかえた稲田は見るもあわれなものであった。



地方事務所の水位標は流失し夜十二時には七・六㍍を記録これは去る二十八年の七・一八水害の最高水位六・九㍍、同年九月二十五日の十三号台風による最高水位六・二㍍をはるかに超える最大のものであり、如何に増水したかがうかがえる。県ではただちに橋本市、高野口町、かつらぎ町に災害救助法を発動して救援に立ち上った。

なお、都市内の被害状況は次のとおり。



かつらぎ町の流木の山（上）と沼に埋つた橋本市内（左）

不幸な子に本を
一冊でも多く贈ろう

ことしも読書週間（十月二十七日―十一月九日）を迎えて、各地でいろいろの催しが行なわれていますが、県立図書館では親のない不幸な子らの施設や、不便なところで活動しているこどもの会、水害をうけた地域のこどもたちのために「本を贈る会」をつくり、読んでしまった本を出しあって贈ってあげようと県民に呼びかけています。

贈る本は、こども向き（小中学生）の読みもの、雑誌参考書・その他ですが、参加される方は次のようにして本を送ってください。

○…送り先は県立図書館（和歌山市一番丁）か同紀南分館（田辺市上屋敷町）ですが、直接持参してくれても郵送してくれても結構です。また遠方の人は毎月巡回する自動車文庫たちばな号かはまゆう号の係員に渡してください。そのほか市町村教育委員会や学校、こどもクラブその他の団体でまとめてくれても結構です

○…この会へ本を送るときは、贈り主のところ、なまえ、年令、学校または団体のなまえを紙に書いて、一冊ごとにはさんでください

贈り主には「本を贈る会」の会員として名簿をつくりお送りします。

なお第一回の寄贈期間は一応十一月十日までです。

恒例の教育表彰
本版関係者は二人

例年どおり教育功労者の表彰を十一月二日県正庁で行なうが、本版関係者は次のとおり

【学校教育関係】　桑原久吉（橋本高校使丁）＝昭和二十三年から橋本高校の使丁として職務にはげみ、特に定時制生徒が職場から登校するものが多く、予想しない下校時の雨に悩むことを知って雨傘十五本を備付用として寄贈するなど物心両面から日夜忠実に用務を遂行している。

【社会教育関係】　森田治利（かつらぎ町丁ノ町）＝県ボーイスカウト連盟長、県社会教育委員、育友会連合会長をつとめる同氏は私財を投じて青少年の指導育成に専念、常に社会教育の振興に貢献している。今年比島でひらかれたジャンボリー、またあいば野での日本ジャンボリーに隊員を派遣し、自分も参加した熱意の人である。

町づくりめぐり ②
かつらぎ町の巻

町村合併促進法が制定されてから伊都郡では西部五カ町村の合併計画が立てられ幾多生みの苦しみを経て昭和三十三年七月一日、ついに伊都町と妙寺町、見好村の合併が実現、名実ともに県下一の人口を持つ「かつらぎ町」が誕生したわけである。

合併後早や一年余を経た同町では多くの困難な問題を除々に解決しているが、中でも問題となったのは庁舎の位置で、知事の仲介により無事解決、今年末には旧伊都町と妙寺町の境界に建設されることになった。また、合併により旧町村から引継いだ累積赤字は六千六百万円を抱え、先ず赤字解消に積極策をとり、今年の一月に県の指導を受けて自主再建計画を立て、さらに六月には自治庁に対し財政再建特別措置法の適用を申請した。再建期間は昭和三十四年度から昭和四十一年度までの八年間に行政の簡素化、徴税の強化など多くの苦労をしなければならない。

財政の立直しへ
苦しい中にも建設事業

しかし、この苦しい財源の中からも新しい町づくりが着々進められ、力強い息吹きがこの町からはき出されている。

目下役場の庁舎が三千三百万円で、中谷橋が二千七百万円、隣保館一千三百万円で工事されており、教育面では三谷小学校の新館と講堂が、四邑小学校の講堂が既に完成している。近く妙寺中学校屋内体操場が建築されることになっている。

また、今後一般家庭の屎尿処理問題や役場事務の機械化など住民へのサービスに積極的な努力をすることに心を尽くしている。

ともあれ現在行なっている事業は必要最小限度のものであり、新町建設へ積極的に乗り出せるのは昭和四十一年度以降の赤字解消後であろう。その時には県下一の人口を持つこの町はすべての県下一を目指して出発することであろう。

高年病相談所の開設日決る

県では、ガン治療を中心とした高年病対策として関係者の協力を得て、県下の保健所や各医療機関で高年病相談所を設置しているが、市内の相談所の開設日が次のとおり決定した。

▽医大紀北分院（かつらぎ町）木曜日（一時―三時）▽高野口保健所（高野口町）金曜日九時―四時。

航空交通管制職員を募集

人事院では昭和三十四年度運輸省航空交通管制職員を次の要領で募集している。

【募集人員】約六十名

【受験資格】日本国籍を有する男子で、国家公務員法第三十八条に該当しない次の各号に該当する者。

（一）学校教育法による短期大学を昭和三十四年三月以降に卒業した者か昭和三十五年三月末までに卒業見込みの者またはこれと同等と人事院事務総長が認めた者。

（二）①に掲げる者のほか、昭和七年四月二日から昭和十四年四月一日までに生れた者

【試験】第一次試験―昭和三十五年一月十七日に各人事院地方事務所で行なう。

【受験申込先】大阪市東区法円坂町、人事院大阪地方事務所ほか人事院各地方事務所。

【受付期間】十一月五日から十一月三十日まで。

11月の広報番組

NHK　BK 670KC

毎土曜日	午前6.15―6.30	村のひろば
毎月曜日	午後4.40―4.55	和歌山県民の時間
毎木曜日	午前11.50―11.55	おしらせ

四国放送　JR 1280 KC

毎水曜日	午前6.00―6.15	農家のみなさん
毎日曜日	午前6.25―6.30	おしらせ

和歌山放送　VF

和歌山1500KC　田辺800KC　新宮1.560KC

毎　日	午前6.00―6.10	農林水産だより
毎　日	午前6.10―6.15	県広報
毎日曜日	午後9.30―9.45	県政の夕べ（録音構成）

11月1日（月曜）四国地方開発問題について
11月8日（〃）四国地方開発問題について（続）
11月15日（〃）中小企業退職金共済事業開始に際して
11月22日（〃）和歌山県の観光
11月29日（〃）みかんの共販態勢確立へ

見通し明るい就職
だが女子には狭き門

今年の就職戦線は経済界の好景気と相まって大学生の就職のすべり出しはよく、高校もなかなかよいようである。地元伊都高校の就職率を見ると次のとおり明るい朗報を得ている。

同校普通科では来春卒業予定者のうち進学希望者七八人、就職希望者一〇三人、家庭従事その他は五一人となっている。去る八月十五日に一流会社の八社試験が口火を切ってから目下中小企業関係の採用が決定しつつあるが、現在までの就職は四四％で好調である。求人先は金融、証券、一流メーカーがトップクラスで大部分が阪神方面になっている。今後、就職希望者が自分の適性や実力を十分考慮して求人先を選んで行けば全員就職の可能性も十分考えられるという明るい見通しである。

現在残っているのは中小企業であり、勤務条件や待遇が相当厳しいから、それだけの覚悟が必要とされている。

なお、女子の就職の門戸は狭く、求人先からの通勤時間が六十分以内という条件もあり困難であるが、希望者自身勤務条件や通勤距離によって就職してもよいし家庭に止っていてもよいという考えがあり、男子に比べて消極的であるといえるようだ。

町の話題から

九月二十六日以後、町の話題は殆んど水害のことであった。二、三ひろってみると次のとおり。

○…浸水の予報はもう一つ不徹底ではなかったろうか。水防団員がメガホンで急を告げるなどの方法をとってほしかった。

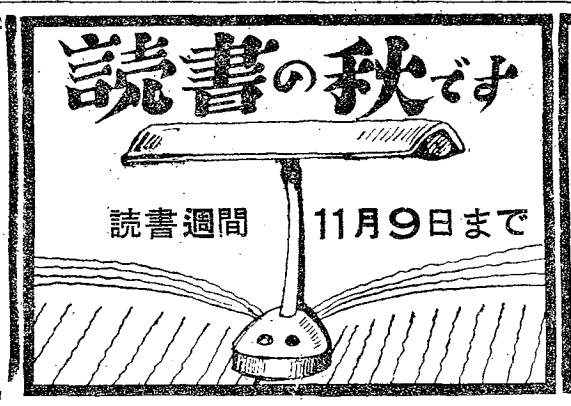
○…大台ガ原の雨量と紀の川の水位の関係をよく研究して洪水予報ができるようにしてほしい。

○…堤防の有無と高低がその地方の被害をきめている。一貫した堤防護岸の早期完成が必要だ。

寄生虫を駆除しましょう

★年2回は必ずやらす検便と駆虫をしましょう
運動期間中はもよりの保健所で無料相談をします。

寄生虫予防運動　11月21日～30日



とき　11月3日～9日
ところ　県経済センター見本市会場

連日会場で電気の知識について抽せんが行われます。9日には映画会、抽せん会がありますので多数ご来場下さい。

有田版

◇貯蓄増強運動◇
しあわせは
日毎の汗から
貯蓄から

高年病相談所

無料で臨床検査
早期治療の手がかり

結核にかわって国民の死亡原因のトップを占めるようになった脳卒中、ガン、心臓病などのいわゆる高年病を追放するには、先ず中年期以上の人々の認識と自覚が大切であるそこで県では、各地の病院や医院などを指定して高年病相談所を設け、高年病予防の正しい知識の普及と、早期発見早期治療への手がかりをつかんで指導することになり、すでに九月から診療を行なっているが、今度その開設日がきまった。

相談の対象は四十才以上の県内在住者で、指定開設日に相談に行けば、無料健康相談と簡単な臨床検査（検便・検尿・血圧測定など）を行ない、精密検診の必要があるかどうかをきめて、適切な指導をしてくれることになっている。

管内の相談所開設日は次のとおり。

◇有田市◇市立病院―毎火曜日の午後一時―三時。山本医院―毎土曜日の午前八時―午後五時。

◇湯浅町◇済生会有田病院―毎火曜日の午前十時―午後三時。児島医院―毎木曜日の午後一時―五時。湯浅保健所―毎水曜日の午前中。

◇吉備町◇五稜病院―毎水曜日の午後一時―四時。吉信医院―毎金曜日の午前九時―午後四時。

◇清水町◇垣内医院―毎水曜日の午後一時―五時。

危い左側の歩行
譲りあって事故防止へ

秋の交通安全運動は十月二十五日で終ったが、その結果は必ずしもよいとはいえなかった。そこで、これからも毎日一般県民の注意しなければならない点として、警察では次のような点をあげている。

○…運転者も歩行者も、互いに譲りあうことが大切であるが、これをしないために他人に迷惑をかけ、また不幸な事故の原因になることが多い。たとえば「狭い道路から広い道路へ出るときは、一時停車するかまたは徐行して、広い道路にある車馬や軌道車に進路を譲らなければならない」「手信号による交通整理が行なわれていない交差点で、右折しようとする車馬や軌道車は、直進または左折しようとする車馬や軌道車に進路を譲らなければならない」などの交通のルールがあるのに、これを無視している者が多いために事故を起している。

○…歩行者の右側通行が実施されてから十年になるが、まだ左側を歩く人も多くて交通を混乱させている。対面交通は、ちょっと考えると真正面からぶつかるように思うが、実際は遠くからよけあうので最も危険が少ない。事故統計をみても、左側を歩いていたために起きた事故は、右側の場合の二倍以上もあり、左側通行の危険率ははるかに高いことを示している。

○…無謀運転による事故も増えている。無謀運転とは酒に酔って運転したり、無免許の未熟な者が運転したりすることで、とくに酔っぱらい運転による事故は昨年県下で六十七件あり、事故原因の第五位を占めている。寒さに向う折から、飲酒の機会も多くなるが、運転者はとくに注意しなければならない。

管内市町の正副議長一覧

管内市町の議会議長・副議長および八月一日付本版に登載した「管内市町の三役議員一覧」のうち、改選直前のため省略した有田市・広川町・吉備町の議会議員は次のとおり。

【有田市】▽議長＝古川吉太郎（68）▽副議長＝鵜尾亀三郎（62）▽議員＝佐原毅（63）大森盛楠（62）鳥洲泰助（60）松村保吉（62）御前正男（44）亀井深（57）武田敏一（41）神保勇（44）貴志潔（42）山東俊次（57）喜多清忠（55）綱谷春夫（33）入山信次（51）津川有功（33）江川与一（56）中尾徳太郎（53）成川淳一（34）栗山勝次（35）中尾武市（30）大浦善一（52）上野山隆（42）島田愛蔵（41）島田文事（35）西川利治（51）

【湯浅町】▽議長＝戒元一（49）▽副議長＝橋本由一（52）

【広川町】▽議長＝戸田善三郎（42）▽副議長＝池永大（52）▽議員＝藤本馬一（53）田中福寿（34）中沢馬三郎（45）大橋久雄（33）山本清照（46）北山茂（39）西岡久五郎（42）栗山文一（37）畠中太助（57）梅本長一（47）関口進（31）竹中信親（67）岡久雄（35）栗原善太郎（64）

【吉備町】▽議長＝中西英雄（63）▽副議長＝湯川俊三（38）▽議員＝亀井信之（36）吉井源太郎（31）田中永之助（67）吉松豊（41）柳本寛（47）田口績（46）片山政次（48）江川実之助（61）亀井俊雄（46）島田清一（66）栗生一男（57）中西粂一（54）大野正一郎（57）山東和夫（42）峠原和夫（35）

【金屋町】▽議長＝上岡貞次郎（73）▽副議長＝傍木佐一（65）

【清水町】▽議長＝二沢茂治（60）▽副議長＝有北貞蔵（72）

不幸な子に本を
一冊でも多く贈ろう

ことしも読書週間（十月二十七日―十一月九日）を迎えて、各地でいろいろの催しが行なわれていますが、県立図書館では親のない不幸な子らの施設や、不便なところで活動しているこどもの会、水害をうけた地域のこどもたちのために「本を贈る会」をつくり、読んでしまった本を出しあって贈ってあげようと県民に呼びかけています。

贈る本は、こども向き（小中学生）の読みもの、雑誌参考書・その他ですが、参加される方は次のようにして本を送ってください。

○…送り先は県立図書館（和歌山市一番丁）か同紀南分館（田辺市上屋敷町）ですが、直接持参してくれても郵送してくれても結構です。また遠方の人は毎月巡回する自動車文庫たちばな号かはまゆう号の係員に渡してください。そのほか市町村教育委員会や学校、こどもクラブその他の団体でまとめてくれても結構です

○…この会へ本を送るときは、贈り主のところ、なまえ、年令、学校または団体のなまえを紙に書いて、一冊ごとにはさんでください

贈り主には「本を贈る会」の会員として名簿をつくりお送りします。

なお第一回の寄贈期間は一応十一月十日までです。

仏いて貯める喜こび
修理川こども貯蓄組合の足跡

金屋町の修理川子供貯蓄組合が、優良こども銀行として知事および県貯蓄推進委員会から表彰された。以下は田中校長先生の説明する「修理川子供貯蓄組合の成長のあと」である。

○…昭和三十年四月、学年始めの児童総会の席で、貯蓄組合をつくろうという意見が出た。新学期を機会に、なるべく多くの友だちで貯金をする仕組みをつくろうというのである。これには全員が賛成し、先生も大いに激励した。こどもたちは係をきめたり方法を話し合ったりして、毎月十日を貯金日ときめ、金額の多少にかかわらず、いつまでも続けることを約束した。

○…親銀行を引受けた石垣農協では係を学校へ出張させ、新しい通帳を手にしたこどもたちは大喜びで、全員が貯金をはじめた。以来四年間、一月も休むことなく続けられ、父兄や先生・農協の理解と協力と指導で次第に成長していった。

○…修理川地区は農業と林業を兼ねている家が多く、経済的には比較的恵まれている方である。こども貯金の平均も毎月一人当り百円強で、八十人の児童は全員通帳をもっており、まだ一度も貯金を出したことのない子も多い。しかし、修学旅行の費用にしたりむし歯や眼の病気やへんとうせんの治療代に引出した子もある。

○…もちろん、こども自身の努力が中心であって、少しでも余分な金は使わず、正月や盆の小づかいもできるだけ貯金にまわすほか、春の花とり夏の木運びや炭出し、秋のナンテン掘りなどにさそいあって出かけ、働いて得た收入を全部貯金する子も多い。また女の子の中には、他家の子守りをしてもらった金を貯金する子もある。

清水町だより

▽…稲刈りはまだ最盛期に入らず、きいろな垂穂が大切に見守られています。さきごろの大風に耐えた尊い姿なのですから。

▽…昨今こちらは氏神の秋季祭礼です「昨今」とは、町内五つの地区が、それぞれにという意味です。

▽…統一整備ということが、合併後にはつきものですが、神事仏事はおいおいに、正だけは新春から〝新正一本〟との声が高まっています。

▽…やりにくいのは小、中学校の整備です。地の利に恵まれぬ辺地の悲しさというもですが、子供たちは朗かに行歌なども口ずさみながら、屈託なくはしゃいでいます。

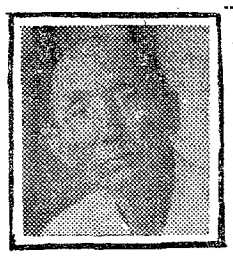
▽…ことしの一月に新参加した五郷、粟生の両地域も、昔々合併したような気分があり

功績は永久に消えず
柑橘の恩人・阿瀬翁逝く

亜鉛硫黄合剤といえば、柑橘栽培者なら誰でも知っているが、これを発見したのは湯浅町の篤農家で、去る十月七日交通事故で不慮の死をとげられた阿瀬亀太郎翁である。

阿瀬翁は七十年の生涯をかけてヤノネカイガラ虫と斗い続けた柑橘栽培の恩人であり、翁の指導をうけた人は数多く、その功績は非常に大きい。いま惜しくも不慮の禍でこの偉大な人を失ったが、ヤノネカイガラ虫の駆除に亜鉛硫黄合剤が使用される限り、翁の業績は生きているのである。

なお翁は昭和十二年頃にヤノネカイガラ虫の駆除薬として亜鉛硫黄合剤を発見、昭和二十七年に知事表彰をうけている。



■写真は在りし日の阿瀬翁

教育向上に功労
川口・永尾両氏を表彰

長い間教育向上に力をつくし功績のあった人を表彰する教育功労者表彰式は、十一月二日県正庁で行なわれるが、本版関係では吉備町の川口氏と清水町の永尾氏がこの栄に浴する。

◇川口亀之助（57才、吉備高校PTA顧問、吉備町西丹生図）＝吉備実業教諭から吉備高校PTA会長（三年）同顧問（六年半）を歴任した氏は終始一貫して校地の拡張、運動場の新設、新講堂その他数多くの農業教育施設に尽力した。

◇永尾伝一郎（73才、農業、清水町宮川）＝学校々舎の改築や社会教育の推進などに努力しているが、特に二十八年の災害後、有田川で水泳できない青少年のためにプール建設を発起し、私有地に巨額の私財を投じて完成、竣工と同時に施設一切を町教育委員会へ寄贈した。

航空交通管制職員を募集

人事院では昭和三十四年度運輸省航空交通管制職員を次の要領で募集している。

【募集人員】約六十名

【受験資格】日本国籍を有する男子で、国家公務員法第三十八条に該当しない次の各号に該当する者。

（一）学校教育法による短期大学を昭和三十四年三月以降に卒業した者か昭和三十五年三月末までに卒業見込みの者またはこれと同等と人事院事務総長が認めた者。

（二）①に掲げる者のほか、昭和七年四月二日から昭和十四年四月一日までに生れた者

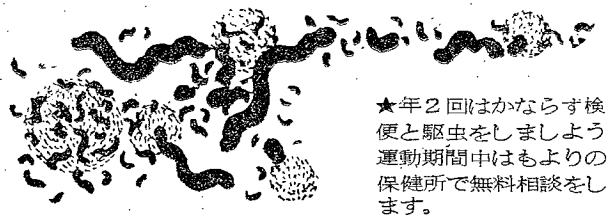
【試験】第一次試験―昭和三十五年一月十七日に各人事院地方事務所で行なう。

【受験申込先】大阪市東区法円坂町、人事院大阪地方事務所ほか人事院各地方事務所。

【受付期間】十一月五日から十一月三十日まで。

【その他】申込用紙は受験申込先で交付する。郵送で請求する時は封筒の表に「航空申込用紙請求」と朱書し、十円切手をはった返信用封筒を同封のこと。詳細は同所へ問い合すとよい。

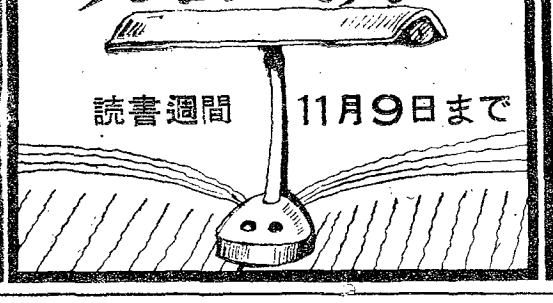
寄生虫を駆除しましょう



★年2回はかならず検便と駆虫をしましょう
運動期間中はもよりの保健所で無料相談をします。

寄生虫予防運動　11月21日～30日

読書の秋です



第7回　電気展

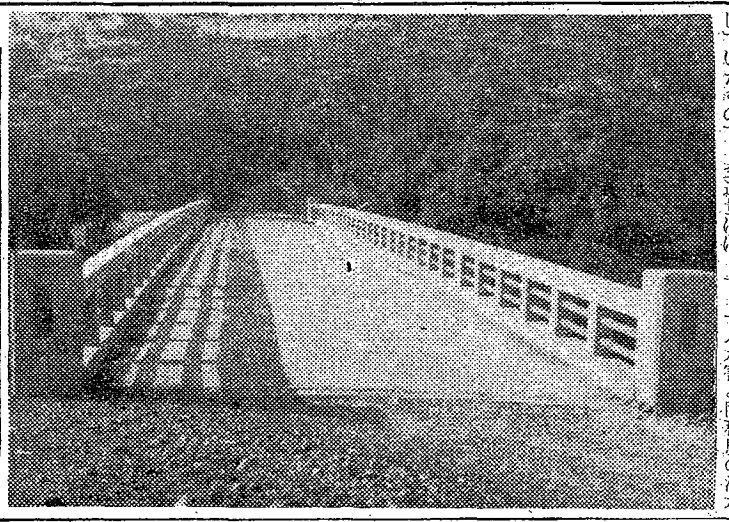
とき　11月3日～9日
ところ　県経済センター見本市会場

連日会場で電気の知識について抽せんが行われます。9日には映画会、抽せん会がありますので多数ご来場下さい。

目高御坊版

◇貯蓄増強運動◇
しあわせは
日毎の汗から
貯蓄から

待望久し上角橋
永久橋で八月に完成



写真は完成した永久橋の上角橋

県道真妻―切目線の切目川にかかる上角橋（印南町宮の前地内）の架設工事は昨年十月十九日着工し、八月三十一日待望の永久橋が堂々完成した。旧上角橋は二八年水害により流失したため、その後仮橋をかけ修理に修理を加えて使用していたもので、交通量ははげしく危険な状態におかれていたため土木出張所では完成を急いでいた。

新しくできたこの橋は総工費九百万円、長さ四十四㍍、巾員六㍍の鉄筋コンクリート丁桁橋で、平均水位から四・六㍍、仮橋よりも二㍍高くなり七・一八水害と同程度の洪水に襲われても完全である。

活躍する母親ク
地事所未結成地区へ力こぶ

児童福祉の向上のため各所で母親クラブが結成され、それぞれ実践活動を続けているが母親クラブは昭和三十一年四月野神母親クラブ（川辺町早蘇）が誕生し、現在郡市内において百五十余が結成されている。各クラブは毎月一回定例会を開催し、グループ活動の効果を上げているほか、子供の福祉を願う母親たちの会合だけに話しあいは常に真剣味を帯び、具体的で発言も活発で、子供についての教育的関心が一層高く、母親自身の自覚をより深めている。

なお、南部町（旧南部）地区が結成されていないので、結成されるよう地方事務所では望んでいる。

教育功労者の古久保氏を表彰

今年も恒例の教育功労者の表彰式は十一月二日県正庁で行なわれるが、本版関係は次の人々である。

【学校教育関係】古久保泉（龍神村東小学校長）＝常に僻地教育振興のため、率先実践した人で、その行績は僻地在勤教職員の模範である。

台風海岸線を荒す
続々義捐物資集まる

去る九月二十六日、本県南部に上陸した台風十五号は巨大なエネルギーを保持し、最大の猛威をふるい各地に甚大な爪あとを残し去った。

本郡では美浜町をはじめ海岸町村は高潮の襲来により防波堤、護岸など各所において決壊し、潮水は住家、施設を倒した。

県では早急に災害救助法を発動し、毛布、衣服、日用品などを配布し、罹災者の応急救助を行なうとともに、各市町村や各種団体はいち早く災害義捐物資の調達に立ち上り、二八年水害当時をかえり見て御礼返しだとの合言葉のもと莫大な義捐金品が連日地方事務所へ運ばれる有様には係員は嬉しい悲鳴をあげている。

これら愛の援助は本郡の罹災者はもとより、遠く東海地方の罹災県へと送られている。

なお、県からは被害の大きかった美浜、由良、中津、美山、印南の各町村へ緊急復旧費として資金を融資し、公共施設の復旧にあてられることになっている。

写真は台風十五号で高潮のため倒れた住家（美浜町三尾）

秋の犯罪防止へ

各地で講演、映画会ひらく

秋の防犯活動に多彩な催し、御坊警察署では郡市民に防犯活動への関心をたかめ、犯罪を未然に防止するため次の日程で講演や映画会を開催するなお上映々画は「母と拳銃」「愛のリレー」「漫画ニュース」

▽十八日＝川原河公民館▽十九日＝山野公民館▽二十日＝真妻小学校▽二十一日＝切目川小学校▽二十二日＝寒川公民館▽二十三日＝塩屋小学校▽二十四日＝ホクソ川公民館▽二十五日＝由良港中学校▽二十六日＝白崎白扇会館▽二十七日＝内原小学校▽二十八日＝比井小学校▽二十九日＝志賀小学校▽三十日＝薗公民館▽三十一日＝印南小学校

県政映画12号完成

県政映画第十二号が完成し、ただいま県下の常設映画館で上映中。主な項目は▽二級国道新宮―大和高田線遂に開通▽紀州観光キャラバン隊東京へ▽第十二回農業まつり開く▽十五号台風の災害特報

なお、十六ミリ用映画フイルムも無料で借出してますから希望者は文書広報課へ。

ペンをかついで

①

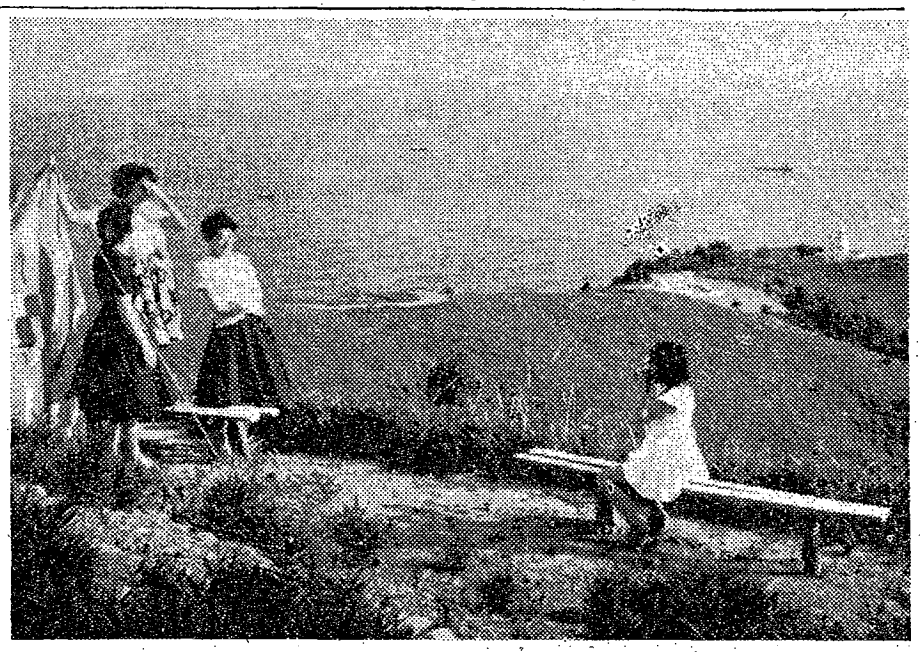
旧高平野の西にそびえる西山を中心に、昭和二十九年十月一日松原、和田、三尾の三村が合併し「沖つ風松にこたえる三穂のうら浪」と明眉なる風光そのまゝに名も美しき美浜町として発足した。

県下の観光地
＝美浜町＝

明治二十年には三尾地区から移民の先覚者として知られる工野儀兵衛翁が押し寄せる困難を克服してカナダ渡航に成功以来出郷立身を期す人々は後を絶たずカナダ、北米に移住している。現在、現地出生者や三世を含めて実に三千数百名に達し三尾地区在住者の二・五倍で、やがてはカナダ、北米に三尾町が実現する。

和田地区の蔬菜の促成栽培は種々の立地条件に恵まれ急速に盛んとなった。栽培面積約四十ヘクタール、胡瓜、トマト、茄子、南京などを生産し、年間十五万貫という県下一の収穫高を収めている。また台風常襲地帯であるため来襲期間をさけての水稲早期栽培が盛んである。栽培面積約百ヘクタールで、相当量の収穫を挙げ成功している。

なお漁業関係も盛んで、特に県下随一の景観を持つこの町は紀勢線全通を機会に観光「美浜」として発展するものと期待している。



特選　日の御崎の夕照　御坊市　杉本静雄氏

（美浜町合併五周年記念写真コンテスト）

お知らせ

本月号より「ペンをかついで」の見出しで御坊市はじめ各町村を訪問することになった。これは各市町村の行政や特色および特産物などを広く郡民に知って戴くとともに、行政の民主的運営を期するものである。

なお美浜町より県政順に順次登場願い、しめくくりとして御坊市を予定している。来月号は日高町です。

本を贈る会生る
図書館　協力を呼びかけ

今年も十月二十七日から十一月九日まで読書週間となり、全国各地では種々の計画が立てられているが、県立図書館では「本を贈る会」を設けて読んでしまった本を出し合って親のない不幸な子供の施設や不便なところで活動している子供の会、水害をうけた地域の子供に贈ってあげようと県民に呼びかけている。

なお、この会の参加方法は次のとおり。

宛先　和歌山市一番丁県立図書館内「本を贈る会」宛

本を送る方法　①直接持参するか、送ってもよい②紀南の人は田辺市上屋敷、県立図書館紀南分館へ届けてもよい③遠方の人は毎月各市町村を廻っている県立図書館の自動車文庫たちばな号、はまゆう号に渡してもよい④このほか市町村教育委員会や学校、子供クラブその他の団体でまとめてもよい。

本を送るときの注意　この会に参加して本を送るときはところ、なまえ、年令、学校または団体のなまえを紙に書いて一冊ごとに本をはさむことなお、本は子供向（小、中学校）の読みもの、雑誌、参考書、その他等で、本を送った人には「本を贈る会」員として名簿を作製し、本人に送ることになっている。第一回の寄贈期間は十月二十日から十一月十日まで。

高年病相談所の開設日決る

県では、ガン治療を中心とした高年病対策として関係者の協力を得て、県下の保健所や各医療機関で高年病相談所を設置しているが、郡、市内の相談所の開設日が次のとおり決定した。

▽日高病院（御坊市）火金曜日一時―三時▽大原医院（御坊市）水土曜日九時―十二時▽竹内医院（由良町）木曜日九時―十二時▽川口医院（印南町）木曜日九時―五時▽御坊保健所（御坊市）木曜日九時―十二時▽野村医院（南部町）水曜日一時―四時▽玉井医院（竜神村）金曜日一時―四時▽御坊保健所南部支所（南部町）金曜日九時―十二時

くろしお

☆統計図表展示会
統計協会日高支部および地方事務所では統計思想の普及向上の目的で、十一月三十日から十二月七日まで地方事務所大会議室で開く。期間中は各小、中学校児童生徒の作品が展示される。

☆選管連合会日高支会総会
県町村選挙管理委員会連合会日高支会では十九日那智勝浦町で昭和三十四年度総会を開く。

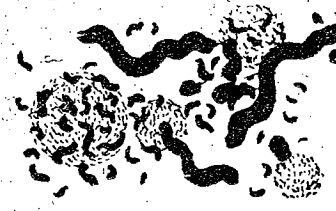
☆自治功労者の表彰
自治庁では自治功労者として中津村長岡田義一（六〇）を決定、表彰式は十一月四日首相官邸で行われる。

☆「話しあい」指導者養成講習会
県では公明選挙常時啓発の一環として「話しあい」運動をより一層効果的に行なうため十一月二十日那智勝浦町で開く。

当日は各市町村の話しあい運動指導者を集め、基礎的な技術および運用の心得など説明指導する。

☆選挙管理委員会大会
県では十一月十九日午後一時三十分から勝浦小学校で開催当日は各市町村の選挙管理委員会の委員や職員が参加する

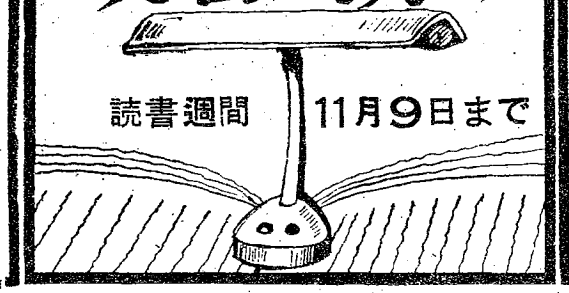
寄生虫を駆除しましょう



★年2回はかならず検便と駆虫をしましょう
運動期間中はもよりの保健所で無料相談をします。

寄生虫予防運動　11月21日～30日

読書の秋です



読書週間　11月9日まで

第7回　電気展

とき　11月3日～9日
ところ　県経済センター見本市会場

連日会場で電気の知識について抽せんが行われます。9日には映画会、抽せん会がありますので多数ご来場下さい。

西牟婁・田辺版

◇貯蓄増強運動
しあわせは
日々の汗から
貯蓄から

今後の伸びに期待
増えるビニールハウス

零細農業経営の安定化をはかる暖地園芸は、県の指導と奨励により最近次第にその実績を上げてきている。

当地方はキュウリの半促成栽培を中心とし、多少の伸び悩みをみせていたが、昨年は好天に恵まれて成績が好かつたので、ことしのビニールハウスは富田地域の四ヘクタールを中心に、郡内で約七ヘクタール程度が見込まれている。

現在水稲後へ前作として富田地域にレタス、富田川町、日置川町方面にトマト、串本町附近にはストックなどの花卉栽培が行なわれ、阪神地区への大きな供給地として今後の発展が期待されている。

教育功労者で表彰
藤木田商校長と福田婦連会長

長い間教育関係の仕事をして功績のあった人々を表彰する教育功労者表彰式は、ことしも十一月二日県正庁で行なわれるが、本版関係では藤木田辺商高校長と福田さとさんが晴れの表彰をうける。

▽藤木俊夫（56）田辺商高校長、田辺市新屋敷町＝高等学校長としてすぐれた管理の才能を発揮し、施設や設備を整え、学校運営の面で他の模範となる実績をあげた。

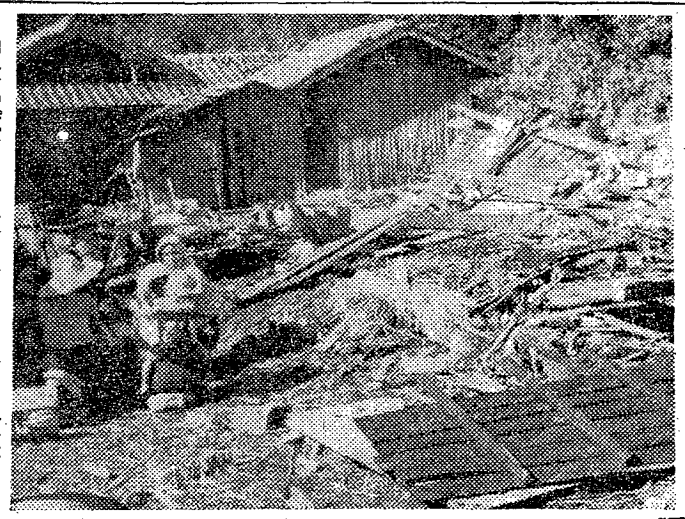
▽福田さと（65）田辺市婦人団体連絡協議会長、同市神子浜＝婦人教育の正しい発展を願い、民主的に自主的に単位団体相互の連絡、提携をはかるために全力を注ぐなど、婦人教育の振興へ新しい風を吹きこもうと努力している。

団体は三位に
消防団の相撲大会

県消防協会主催第三回消防団員郡市対抗相撲大会は、十月十八日、県庁の土俵で行なわれ、西牟婁郡から出場した牟婁町消防団はよく奮戦、出場九チームのうち団体三位に入賞した。

出場選手は次のとおり。

先鋒＝岩見恒夫、中堅＝芝文夫、大将＝輪玉忠雄、補欠＝榎本克己。



倒れたわが家のあとかたづけをする人々（すさみ町江住）

海岸地帯に猛威
台風15号　被害は十一億円

台風十五号による被害は、西牟婁郡では特に高潮による海岸筋の被害が大きく、すさみ町、串本町に災害救助法が発動された。その後着々と復旧に努めているが、郡下の被害総額は左のとおり。

▽一般住宅＝一億八千百万円
▽公共施設その他＝八千二百五十二万円
▽林業関係＝一億五千三百五十五万円
▽経済関係（農業・水産）＝四億七千百九十一万円
▽農地関係＝九千二百四十九万円
▽土木関係＝一億五千七百三十二万円
▽合計＝十一億三千八百八十一万円。

なおこのほど緊急町村長会を開き、応急復旧について、関係方面に陳情した。

認定額は一億二千万円
災害緊急査定おわる

田辺土木出張所管内の十五号台風による災害復旧事業の緊急査定は、十月中旬、建設省大蔵省係官により行なわれ、二十一カ所、一億二千万円が認定された。主な復旧箇所は次のとおり。

▽日置川＝久木地区堤防欠壊（延長六百四十㍍）一千二百五万九千円、ロケ谷地区堤防欠壊（延長二百三十㍍）五百七十六万五千円▽国道四二号線＝伊古木地区（二百六十七㍍）一千六百九十三万五千円▽田辺・本宮・新宮線＝中辺路町高原（三十六㍍）四百九十六万六千円、中辺路町福定（五百二十二㍍）九百五十七万円

不幸な子に本を
一冊でも多く贈ろう

ことしも読書週間（十月二十七日＝十一月九日）を迎えて、各地でいろいろの催しが行なわれていますが、県立図書館では親のない不幸な子らの施設や、不便なところで活動しているこどもの会、水害をうけた地域のこどもたちのために「本を贈る会」をつくり、読んでしまった本を出しあって贈ってあげようと県民に呼びかけています。

贈る本は、こども向き（小中学生）の読みもの、雑誌参考書・その他ですが、参加される方は次のようにして本を送ってください。

○…送り先は県立図書館（和歌山市一番丁）か同紀南分館（田辺市上屋敷町）ですが、直接持参してくれても郵送してくれても結構です。また遠方の人は毎月巡回する自動車文庫たちばな号かはまゆう号の係員に渡してください。そのほか市町村教育委員会や学校、こどもクラブその他の団体でまとめてくれても結構です

○…この会へ本を送るときは、贈り主のところ、なまえ、年令、学校または団体のなまえを紙に書いて、一冊ごとにはさんでください。贈り主には「本を贈る会」の会員として名簿をつくりお送りします。

なお第一回の寄贈期間は応十一月十日までです。

展示にも新趣向
近づく〝熊野農林祭〟

第八回熊野農林祭（西牟婁地方の農林産物品評会）は十二月一日から四日間、熊野高校で開催されることになった。この農林祭は、西牟婁地方の農林水産物やその加工品の優劣を比較して技術水準の向上をはかるほか、生活改善に関する工夫や優良農機具・肥料飼料・農薬・家庭文化用品などを展示し、農山漁民の知識を向上させようとするものである。

ことしは特に展示に新しい工夫をこらし、参観者に理解しやすくして新しい知識を得てもらおうと、地方事務所では努力している。

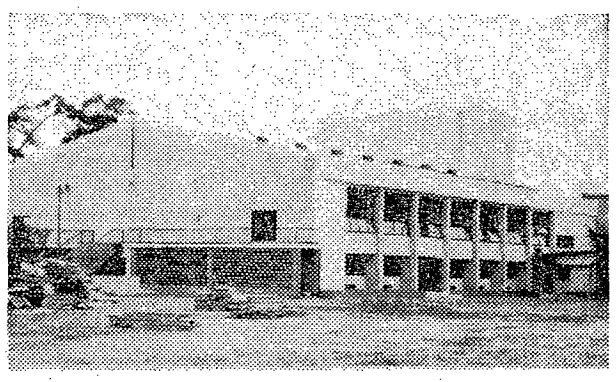
なお出品者には洩れなく参加賞を出すほか、映画会や講演会、演芸会なども計画して参観者を集める予定である。

県政映画12号完成

県政映画第十二号が完成し、県下の常設映画館で上映しています。主な項目は▽二級国道新宮大和高田線遂に開通▽紀州観光キャラバン東京へ△第十二回農業まつり開く▽十五号台風の災害特報。

なお、十六㍉フイルムも無料で貸出していますから希望者は文書広報課へ。

竣工式は文化祭に
田辺高校の講堂できる



田辺高校体育館兼講堂は本年三月着工以来工事を急いでいたが、このほど完成し十月二十日、同校文化祭とあわせて盛大に竣工式が行なわれた。

この講堂は、白亜の鉄筋コンクリート造り、総工費三千万円、建坪一千三百八十六平方㍍、雨天体操場兼用で、バスケット、バレー、バドミントンができ、特に舞台装置や照明、放送も近代の粋を集めている。移動席八百、固定席五百四であるが、詰めれば二千人を収容できる。

高年病相談所の開設日決る
△△△▽▽▽

県では、ガン治療を中心とした高年病対策として関係者の協力を得て、県下の保健所や各医療機関で高年病相談所を設置しているが、管内の相談所の開設日が次のとおり決定した。

▽国立白浜温泉病院（白浜町）水曜日一時＝五時▽大沢医院（牟婁町）月曜日九時＝五時▽渡辺医院（白浜町）土曜日一時＝三時▽西嶋医院（白浜町）火金曜日一時＝三時▽竹中医院（上富田町）火金曜日九時＝一時▽三木医院（上富田町）月曜日九時＝五時▽小山医院（日置川町）木曜日一時＝三時▽紀南病院（田辺市）火木曜日八時半＝五時▽園立田辺病院（田辺市）金曜日八時半＝十二時▽辻医院（田辺市）月曜日九時＝十二時▽小山医院（田辺市）木曜日二時＝五時▽赤木医院（田辺市）水曜日九時＝十二時▽玉置医院（田辺市）木曜日二時＝四時▽田辺保健所（田辺市）金曜日九時＝十二時▽すさみ病院（すさみ町）月木曜日二時＝四時▽串本病院（串本町）火水曜日二時＝四時▽木下医院（すさみ町）火曜日二時＝五時▽城医院（すさみ町）火曜日一時＝三時▽小倉医院（串本町）火曜日九時＝十一時▽筋師医院（串本町）土曜日二時＝六時

道路整備すすむ
国道・県道を改修舗装

建設省では、国道四十二号線の一級昇格以来、根本的な改修や舗装に取り組んでいるがいま上富田町朝来付近の舗装や改修をすすめている。舗装工事は、朝来駅前および田鶴隧道付近で延長八百六十八・六㍍、巾員六・五㍍、工事費一千九百七十万円で明年二月上旬完成する見込。このほか同町不動坂の改良工事も十一月上旬着工の予定である。この地区は有効巾員三・五㍍位の交通の難所であるが、今度は延長四百二十㍍にわたって有効巾員七・五㍍に改修される予定で、すでに民家の立退きなど準備にかかっている。

また田辺土木出張所では、白浜町、細野地内の県道田辺＝白浜線の補修および舗装工事を急いでいたがこのほど完成した。舗装は延長三百九十㍍巾員六㍍、補修面積二千四百五十九平方㍍、事業費五百万円で、使用したセメントは、三千八百五十袋。

これで白浜口から白浜温泉に向う道路は、一応計画通り整備された。

派米農業労務者きまる
谷本君ら14人が合格

毎年定期的に行なわれる派米労務者の選考が串本町で行なわれ、西牟婁、田辺地区からは次の十四名が合格した。

谷本正男（田辺市中屋敷町）▽溝端昭治（同市中万呂）▽谷口猛（牟婁町下三栖）▽那須勉（同町上野）▽田中秀穂（同町中芳養）▽森保夫（同町上野）▽梅田房一（同町中三栖）▽加森三次（すさみ町周参見）▽仲江弘（同町同）▽森川文広（串本町出雲）▽佐居清（同町田子）▽西山明（同町田並）▽嶋村静一（同町同）▽井上義雄（同町和深）

なお合格者は三重県伝習農場で労務講習をうけた後、三年契約でアメリカ・カリフォルニア州へ明年一月頃出発する。

アメリカでは主に農場での労務で、作業はかなり激しいものだが、昭和三十一年度派米労務者は、平均百二十万円を貯金してこのほど帰国した。

郡内一の庁舎に
中辺路町の役場完成

中辺路町役場庁舎が完成し、九月十七日に大橋副知事も出席して竣工式が行なわれた。新町が発足して以来、旧栗栖川村役場を使用していたが、栗栖川上芝に位置を変更して建築を急いでいたもの。

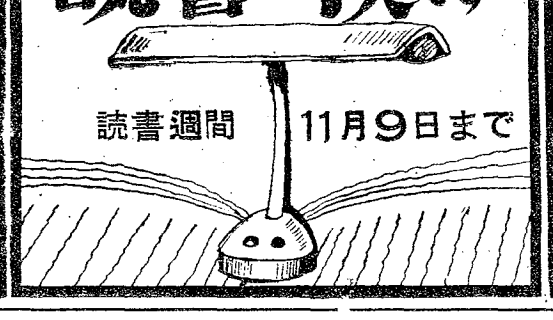
この庁舎は、木造二階建延八百三十二平方㍍、工事費一千百万円、室内には放送設備のほか採光や通風など近代的設備を完備し、郡内一のデラックス庁舎として自慢の建物である。なお旧庁舎は近く診療所として改造される。

寄生虫を駆除しましょう

★年2回はかならず検便と駆虫をしましょう
運動期間中はもよりの保健所で無料相談をします。

寄生虫予防運動　11月21日～30日

読書の秋です



第7回　電気展

とき　11月3日～9日
ところ　県経済センター見本市会場

連日会場で電気の知識について抽せんが行われます。9日には映画会、抽せん会がありますので多数ご来場下さい。